

不確かな音

ミドルタウン オハイオ州 アメリカ合衆国

1961年3月15日

1 サリバン兄弟、ありがとう。どうぞおかけください。

今夜この幕屋に戻ってきて本当に感謝していることを神に感謝することは、ほとんど自分自身を表現することはできません。私はサリバン兄弟と人々とここで最後に訪れた時の訪問と、ある日曜日の朝に教会で主が私たちをどのように祝福して下さったかを長い間覚えています。そして、私がほんの数分前に来て、人々が「私の心に喜びと私の心に平和を」と歌うのを聞いたとき、それはクリスチャンが歌うものであり、クリスチャンが話すことができるものであり、彼らの心に喜びと彼らの心に平和を持っています、神以外にそれができることはありません。

そして、たまに深呼吸ができるカリフォルニアの煙からここに戻るのには良いことのように思えます。それは…彼らは私の部分のためにカリフォルニアのすべてを持つことができます。そして、私はその人々が好きです、しかし彼らがその谷でそこに降りてきたその煙は確かではありません。

2 私はここケンタッキー州のこれらの尾根の1つで生まれました、そして私はそれから逃げることはできません、あなたは私がただ…私は…それは…それは…かもしれない誰も望むなら急いでそこに行くかもしれないかもしれませんが、私にとっては、少なくとも呼吸できる場所にとどまりたいと思います。私の目は焼けました。喉が赤くなった。

そして私は—そして私はあなたに言います、罪は親切に伝わると信じています、まあ、それは常に伝わり、文明とともに旅してきました。罪は常に文明によってもたらされます。

3 西に白人がいるようになる前、インディアンだけがいたとき、彼らには罪がありませんでした。彼らは、静かで良い生活を送っていて、部族戦争などで時々少し問題を抱えていましたが、罪に関しては、文明が来たとき、それは白い人種に伴うものでした。それから彼らは女性、ウイスキー、ギャンブル、そして殺害と…

そして太陽が東から西に行くにつれて、文明はそれと共に移動します。そして、私は主が西海岸に素晴らしいレーダースクリーンを持っているに違いないと信じています。それがさらに遠くに行くと、再び東に戻るからです。だから私はそれがそれに逆らい、波のようにすぐに後退すると思います。そして、私は確かにそうだと思います、私たちは確かにひどい時代、ひどい時代に生きています。

さて、それは西海岸だけに当てはまるわけではありません。私はこれらのバックアイズ、フージャーズ、そしてこのあたりのとうもろこしクラッカーを自慢していますが、私たちはここでもそれを取り上げました。

4 ちょうど今、私たちが得たこれらの5泊—ここオハイオで再び…明日の夜、彼らは講堂か何かに行くと思いますが、私は—教会に来てよかったです。私は教会が好きです。はい。私は、サリバン兄弟が旅行のイベントに参加していると思います。最高の集会は常に教会で行われることがわかっているからです。今、私は—私が迷信的でないことを望んでいます。もし私がそうなら、私はそれを知りません。しかし、その後、娯楽やギャンブル、ダンスが行われるこれらの場所に行くと、いたるところに小さな悪魔がいるように見えます。そして、それらはただ一種の、彼らのための生息地です。彼らはただそこに留まっているのです。そして、あなたは入ってきて、あなたが集会を始めることができる前に、あなたが知っているように、それらすべてを説教するために約5泊かかることでしょう。しかし、教会の家には聖人達が集まっているので、神の天使たちが宿営していると私は信じています。それは神にとって有名な場所であり、神が来て彼の民と会う場所です。

教会にいたことはいつも親切で私には良さそうに見えました。私はそれがもっと好きなので、あなたは…になることができますまるで家にいるかのようです。ご存知のように、それは私たちがただ一緒に交わり、共通点がある場所なのです。

5 サリバン兄弟と私たちが再び戻ってくる機会を得たとき、確かに幸せでした。

先週、ここバージニアで隣人たちを通りに抜けました。そしてリッチモンドで。それらの南部の人々と素晴らしい時間を過ごしました。「国の発祥の地」と彼らはそれを呼びます。そして、彼らは皆古き良き南部人でもあります。彼らはそこにいる主を本当に愛していて、私たちは素晴らしい時間を過ごしました。しかし、しばらく一緒に礼拝できるように、ここに戻って家に帰りたいと思っていました。

6 さて、ここで私の友達が北の州から来てくれてうれしいです。チャーリー、ここからどれくらい離れていますか?どこまで生きているのか…?[彼は「70マイル」と答えます。 —編集]約70マイル。さて…[兄弟は、「イ

ンディアナ州の境界線のすぐ内側」と言います。]まさにこれ—インディアナ州の境界線の内側。ロドニーとすべて…ああ、それはこちら側、つまりインディアナ州の境界線のこちら側にあります。彼はちょうどほぼ恵みを得たばかりでしたが、州の境界線でそれを少しだけ、ほんの少しだけ逃しました。

さて、ケンタッキーに降りてきたら、あなたは正しかったでしょう。ここにはケンタッキーの人は何人いますか？ああ、ひどい。[誰かが聴衆から話します。]私はあなたに言います。[ブラナム兄弟は誰かが聴衆から話すと笑います。]あります—私は一度言いました…[聴衆の誰かが話します。]何ですって？[サリバン兄弟が質問します。]サリバン兄弟、わかりません。

7 私の母はかつてジェファーソンビルで寄宿舎を経営していました、そして私はちょうどこのサイズのタバナクルを持っていると思います。ある夜、私は説教をしていました、「ケンタッキーからの全員が立ち上がる」と言いました。誰も落ち着いていませんでした。すべて—そして私は言いました、「まあ、ケンタッキー州民と地上の豚は発砲せずに国を奪った」。私は言いました。「彼らは、本当にうまくやって来て、すぐにやって来て、それを受け入れました。ええと」と私は言いました、「彼らはどこかからここに宣教師を何人か派遣しなければならなかったの、それは…から…」[ブラナム兄弟は笑う—編集]私は今オハイオについて話していません。さて、ちょっと待ってください。私はインディアナで、インディアナについて話している。

さて、どこへ行っても、世界中で、神の民はいつもほぼ同じであることがわかります。

8 私が行ったことのあるアフリカや他の国々で、右手と左手がわからない人がいることに気づきましたが、聖霊を受けたときに何が起こるか、彼らは何をしているのか知っていますか？あなたが聖霊を得たときと同じことを、同じように行動するのです。そして彼らはそうするでしょう—彼らは異言で話すでしょう。

そして、彼らは、あなたが彼らの言語を聞いたときに彼らが彼ら自身を話していたとしたら、多分、私がいとも驚いた種類がそこにあると思うでしょう、彼らは話しているときに親切に彼らの舌をクリックします。私はそれがバズツと呼ばれていると信じています、私はそれがそうだと思います—いいえ、ホサ語。そして、あなたがホサ語とだけ言うなら、それは正しくありません。あなたはそれをクリックしなければなりません、[ブラザーブラナムはカチツという音を立てます—編] コサのようなホサ。そして、あなたが言うすべてはそれにクリックを持っています、しかし彼らが異言で話し始めるとき、彼らは時々英語を話します。わかりますか？そしてただ…あなたは、異教国の人々が聖霊を受けるときはいつでも、どこにいても、他の人と同じように行動します…それは「誰でも来るかもしれない」ためのものであることを示しています。

9 さて、私たち—多くの兄弟たちが今立っています、そして私はいま、申し訳なく感じています。私が彼らに座る場所を提供できればいいのに、私たちはそれを持っていません。だから私は話します—3時間かそのようなことを超えて話さないでしょう。そして、私はただからかっていました。しかし、私たちができる限り迅速に、主が私たちを祝福し、それで十分だと言っているのを感じてください。それなら、私たちが解散したくなるでしょう。しかし、この時期にこの交わりを持つためには、その人はどこから始めればよいのかわからないのです。それはただ、とても素晴らしく良い物です。

10 私が言っていたように、西海岸で素晴らしい集会をしてきました。今回、主は西海岸で力強く祝福されました。私はビサリアの周り、そこまで、そしてそれはベイカーズフィールドとプレスノ、そしてそこを通過して起きました。彼らはそれらの谷を下って本当に心が飢え渴いていた人たちでした。

私はその理由を信じています。私は飢え渴いています。なぜなら、神は彼の教会を一緒に召し、神の言葉を味わっているからです。さて、始める前に、私たちは彼の言葉を読む前に、著者と話すべきだと思います。そう思いませんか？それでは、頭を下げて、幼稚な小さなものをすべて脇に置き、最も厳しい、神聖な部分であるみことばに目を向けましょう。

11 私たちの天のお父様、私たちが今夜この教会に集まっているとき、あなたの名前と呼ばれる教会、ここに集まっている人々はあなたの名前と呼ばれます。そして、あなたは永遠の言葉で私たちに約束をしました、「私の名前と呼ばれる人々が集まって祈るなら、私は天から聞くでしょう」。さて、それはあなたの約束です、そして私たちはあなたがあなたの人々へのあなたのすべての約束を守ることを知っています。教会、ここに代表されるすべての人、そして代表されるすべての教会に感謝します。そして、主よ、あなたが信じる子供として一緒に私たちを祝福してくださるように祈ります。

今夜、私たちは特に私たちの恵み深く忠実なサリバン兄弟にお願いします。彼の心の願いがあなたに仕え、あなたのために何かをすることであり、これらのすべての時間をカウントすることであると見て、あなたは彼を非常に豊富に祝福してくださいます王国は、都市に、ミニスター、さまざまなタイプのミニストリーを持

つさまざまなミニスターを連れてきて、彼らが目的を果たし、聖霊が彼らを監督させた群れを養うかもしれません。これをありがとうございます。

12 そして今の私たちの選択のように、ここで次の4、5日間群れを養うことがあなたの意志であるなら、聖霊が羊の餌、みことばを与え、力と現れをもたらすことを祈ります。聖霊の現れ。私たちがあなたを待つ間、私たちを祝福してください。

主よ、救えるものをすべて救ってください。聖霊を受けるのを辛抱強く待っている信者を満たしなさい。私たちは、あなたがその状態にあるすべての人が今夜ここから離れ、幸せになり、救われ、御霊に満たされるようになることを祈ります。

13 主よ、病人を癒してください。あなたは私たちに「その都市に行って、その都市にいる病人を癒すか、あるいは王国が近づいていることを説教する」という任務を与えられました。そして神様、私たちはあなたがこれらのものをあなたのしもべとして、あなたの大使として私たちに与えて下さるようにと祈ります。なぜなら私たちは王国が近づいていると信じているからです。そして、人々があなたを見て信じるように、そのようにのみことばを生み出すのを助けてください。そして、すべての人に来るその素晴らしいと考えられていた日に、私たちの努力が理由で、私たちが今出そうとしている努力のおかげで、文字通り何百人もの人々が血によって贖われてそこに立つかもしれません。

父よ、私たちが集まる時、私たちは子供として話します。私たちは幸せです。そして今、私たちはあなたが私たちにそれを脇に置いて、王国の働きに移り、聖霊の支配下に置かれることを祈ります。私たちはそれをイエスの御名によってそして彼のために求めます。アーメン。

14 さて、少し文脈として、私はあなたの注意を第一コリント人への手紙の第14章第8節に呼び読めます。

また、もしラッパがはっきりした音を出さないなら、だれが戦闘の準備をするだろうか。

私たちは不確かな時代に生きています。今日私たちが見ているほとんどすべてが不確かなのです。私たちは、確かなことをほとんど手に入れることができないような時代に生きています。

私たちの国家安全保障、非常に不確実…その中に、なぜ私たち一全体として、私は国際安全保障と言います。なぜなら、私たちは時代の終わりに生きているだけなのだからです。

15 数日前、カリフォルニアで、バプテストの兄弟がクリフトンのカフェテリアの朝食で横になり、ビジネスマンの集会の後で私の手を振ったときに出されたメッセージがありました。マリリン・モンローの兄弟、映画スターだったと思います。彼はバプテストで、私と握手し始めました。握ったとき、彼は未知の言葉で話しに行きました。そして、ルイジアナ州の女性がたまたまそこにいました。そして彼女はフランス語を理解し、「その少年はフランス語を話しました」と言いました。

彼は「私はフランス語を一言も知りません」と言いました。

そして、彼女が彼の言ったことに解釈を与えたとき、国連の通訳がそこにおいて、女性とビジネスマンのところに来て、「女性はそれを正確に解釈した」と言いました。彼は国連で通訳していると言った。私にメッセージを与える…

16 そして、それはある州の上院議員がシャカリアン兄弟と話していただけだったと思います。そして、この国が原子兵器で地球を破壊するためにグリーンランドから準備されているグリーンランドで。ワンタッチするだけで、どの国も地球から離れていくでしょう。ほら、私たちが聞く唯一のことは、「彼らは爆弾を手に入れたことで特定のことをする」ということだけですが、彼らはそれよりも大きくなりました。彼らはそうしません—国政において…あなたはあなたの…すべての秘密を…それが…外に出さないのです。

そして、この男は7月にマイアミに来て、フロリダ州マイアミで集会を開く予定です。そして、画面にミサイルが入り、画面に何かが入っていました。そして、この男はレバーを引くように命じられました、そしてそれはそれででした。しかし、彼は自分でそれを引っ張ることはできないと言いました、それは緩んでいたでしょう、私は爆弾の大きなロケットがいくつあるかなどはわかりません。そして、戦いは続いていただろう。しかし、何か彼にそれを引っ張らせないでしょう。それは神だったのだろうか、まだ救われていない誰かがここにいるのだろうか？それが起こるまでそれは起こり得ないということです。それは私たちがどれだけ近いかを示しています。

17 ほら、天使は口にした、「あなたがここに来るまで私は何もできないので、ここから出なさい」。彼はそれについて何かをする前に最初に出なければなりません。

だから何年も前には、中国、ロシア、米国のように、大きな船と多くの人がいる大国が支配的でした。彼らは支配的な国でした。それはもうありません。どんな小さな国でも、地球全体を破壊することができます。つまり、そのサイズはこれ以上になる事はもはやありません。ただ時を待っているだけです。

さて、それを軽視しすぎないようにしましょう。「ああ」とあなたは言います、「ブラナム兄弟、私は聞いたことがあります。私は以前にそのようなことを聞いたことがあります。」私はそれを知っています。しかし、あなたはそれを一度、最後に聞くこととなります。そして、他のすべてがすぐ近くにあるので、私はほとんどいつでもそれを聞いています。そして、現時点で私たちはどのような人々になるべきでしょうか？罪人は憐れみを求めて叫んでいるはずで、そして、クリスチャンは神の賛美を叫ぶべきです。そうです。

18 ある人が言った、「ブラナム兄弟、あなたはイエスがとても早く来られると言って人々を怖がらせます。ああ、私たちの世界が終わりに近づいていると考えるのは恐ろしいことです。」

私は言いました「クリスチャンのためではありません私たちの主がいつでも来るかもしれないと考えることは、彼が心に抱くことができる最も輝かしいことです。その後、すべてが変更されます。終わります。」

男の子たちはここにビジネスマンが印刷した小さな本を持っていると思います。主が最近私に与えた幻です。読んでもらいたいです。

「はい」とパウロは言いました。「私は良い戦いをし、コースを終え、信仰を保ちました。今後、私のために義の冠が置かれます。正義の裁判官である主がその日に私に、そして私だけでなく、彼の出現を愛するすべての人に与えてくださいます。」ああ、あなたが主を愛するとき、それはすべての恐れを取り除きます。あなたはただ彼に会うつもりです。

19 最近、私の旧友であるF. F.ボスワース博士がマイアミで亡くなったとき、私は彼に会いに行きました。彼はおよそ90歳に近い年齢でした。そして私は彼に言いました、「ボスワース兄弟、あなたの人生で最も幸せな時は何でしたか、あなたは今、約55年か60年の間説教してきましたか？」

彼は「これは私が今まで生きて中で最も輝かしい時なのです」と言いました。

そして私は、「何をするのですか？なぜあなたはそれを言うのですか？」と言いました。ただ古い聖人に質問してください。彼は言いました、「ブラナム兄弟、私が若い頃から生きてきたのは、イエス・キリストのためだけでした。」そして彼は言った、「せいぜいいつでも、私は彼と一緒に私を連れて行くために彼がドアに来るのを探しています。」言いました、「それは最も輝かしい…私がこれまでに考えることができたすべて、または私がこれまでに持つことができた最も輝かしい期待は、すぐに私が私の主の手にあり、永遠に主と一緒にいることを知ることです。」それは本当のクリスチャンが死にかけていることです。それは本当のクリスチャンが死にかけていることではありません。それは本当のクリスチャンが彼と一緒にいることです。

20 ポール・レイダーが言ったように、彼が死にかけていたとき…ロサンゼルス。私たちが死と呼ぶように…彼は兄のルークに電話した。彼は言いました、「考えてみてください、ルーク。私たちは長い間一緒にいましたが、「今から5分以内に、私はイエス・キリストの義に身を包み、イエス・キリストのご臨在の中に立つこととなります。」と言いました。兄の手を握って、彼に会いに行きました。ああ、それは私にロングフェローの「命の詩篇」を思い起こさせます。

偉人の生活はすべて私たちに思い出させます
そして、私たちは私たちの生活を崇高にすることができます。
別れをもって、私たちを置き去りにして、
時の砂の上の足跡。
それがクリスチャンをどのように励ますか。

21 私は本を持っていました。罪人と聖人の両方で、彼らが世を去る前の偉大な男性の最後の言葉について、私は家のどこかにそれを持っていると思います。私はドワイトムーディーと世界を去った他の多くの偉大な聖人を手に入れました。

不機嫌そうな、死が彼を襲ったとき、彼は言いました、「そして、あなたはこれを死と呼びますか？」彼は「今日は私の戴冠式の日です」と言いました。

そして女王…非常に邪悪なイギリスの女王の一人は、自分の王国にさらに15分間の命を与えられました。

ほら、道の終わりは告げているのです。そして、それが私たちが道の終わりにいる場所なのです。

22 彼らがあなただけを吹き飛ばすのを防ぐのに十分なほど地球の下を掘ることができないので、国家安全保障にはもはや確実性はありません。できません。何もすることはできません。私たちは道の終わりにいます。そして、私たちはその時を取り、他のいくつかのことは確実ではありません。

ここに来るニュース番組で聞いていたのですが、フーバー大統領の沈滞時代よりも今は失業者が増えており、彼の政権時代や1930年の時代よりも多くの失業者がそこにいます。その時代の私たちの多くは、私たちが少し食べたとき、それを覚えています。小さな皮のついたままのジャガイモを食べたのでした。たまに手に入れて、朝食、夕食、夕食を食べたからです。どれほど大変だったでしょうか。そして今、彼らはそれを言うことができるので、米国には当時よりもほぼ3分の1多くの人々がいます。

23 そして先日、リッチモンド、ルイビル、そして多くの場所にやってきました…ご存知のように、これを実現するのは私たちのリーダーシップの一部だと思います。街角で女性警官を見てください。警官であり、酔っぱらいや物事と格闘している女性はどのような関係があるのでしょうか？それは男の仕事であるべきです。そして、もし彼らがこれらの女性の何人かを彼らが所属する台所に戻したら、男性はより多くの仕事を持ち、より多くの女性がいるでしょう。しかし、彼らは…でもそれはちょうどその時間です。失業中…時間がない。何も残っておらず、ほとんどありません。しかし、すべてを正すために主が来られるのです。仕事…

家庭生活は不確かです。今のように、平時にこれほど多くの離婚があったことはありません。私たちの家庭生活は崩壊しています。そして何年も前は、それはそれでいい。教会の時間や何かのためになければ、その母と父は夜家にいました。そして、彼らは子供たちが通りを歩き回ったり、一晩中走り回ったりすることを決して許しませんでした。そして最近では、それは一種の人気のある意見のようです。

24 ああ、今日の現代の家にどうやって行くのか。それが何であるか見てください。パパ、彼はビリヤードルームに急いで行かなければいけません。男の子たちはビリヤードで遊んでいるか、ボウリングか何かをしています。彼とママ。姉妹は食堂、どこか、またはロックンロールパーティーに出かけています。ジュニアはホットロッドを手に入れました。彼が何人走れるかを見ていたのです。そして、それが家庭生活なのです。

そして聖書は？ああ、それは素晴らしい本ですが、牧師が来るか誰かが来るまで、どこかの引き出しに入れられます。そして、私たちにはかつてのような家庭生活がありません。それは…家庭生活はとても不確かです。

25 今日、結婚しようとしている男性…あなたがた若い人たちは、長い間祈ったほうがいいです。神にあなたに相手を与えるように頼みなさい。あなた方若い女性も同じように、それはとても不確かだからです。

カリフォルニア、私は向こうで私が見つけた—それは倒錯の15または20パーセント、そのような何かだったと思います。変質者はここ1、2年で増えています。ああ、それはひどいことです。そしてそれは…家庭生活は不確かです。

政治、不確実…政治にはもはや確実性はありません。当事者達はいかなる確信さえも持てないのです。彼らの間にはもはや公平性はありません。さて、誰かが「説教壇で政治について言及するべきではない」と言うかもしれません。それは本当です。しかし、品位とキリスト教は説教壇で言及されるべきです。そうです。私は政治家ではなく、クリスチャンです。両側が壊れています。

しかし、つい最近、大統領選挙で、彼らでさえ戻ってこれらの投票機を見つけなければなりません。あなたがそうするとき…彼らは修正したので、あなたが一方に投票するとき、あなたはもう一方にも投票しなければならないでしょう。、曲がった。誰が選ばれたのかわからない。彼らはこれ以上言うことができます。確かではありません。あなたは投票を数えるためにそれらを置きました、そして誰かがそれらを間違った方法で数えるほど十分に曲がっていました。締約国は、彼らの男を引き込むために引っ張っています、正直ではありません。

さて、ケネディ氏が共和党員だったとしても、あるいは民主党員だったとしても…ニクソン氏…何の違いもありませんでした。マシンが間違っただけで投票するように設定されている場合、問題が発生します。そしてFBIはそれが行われたことを証明しましたが、彼らはそれについて何もしていませんでした。分かりますか？なぜ

ですか？あなたはなぜそのようなことが人々の顔を覆い隠すのか、それがどのように起こったのか疑問に思います。それは、これらのものがなければならぬからです。私たちは終わりの時にいるのです。それはここにいなければなりません。この男が選ばれなければならぬませんでした。我々は終わりの時にいるのです。そして、私たちは終わりの時に居て、あなたが二人を作ることができて、二人が四人を作ることができると確信しています。そして、これらの機械は、彼らがそれを曲げたことをどれほど証明したとしても、それは現状のままではいけません。

26 そして誰かが私に言いました…次の集会のスポンサーの一人である、全国での次の集会の一つであるミニスターが私に電話をしてきました、「あなたは私たちの教会の姉妹たちが髪を切って、そして身に着けていることに対して非常に説教されていると聞きましたショートパンツ、そして物事。」

私は「そうです」と言いました。私は言いました、「さて、もしあなたがそれを聞かないなら、私のために送らないでください。」分かりますか？

そして彼は言いました、「あなたはそれをやめると思いませんか？」

私は言いました「いいえ罪をやめると信じていますか？」

彼は「いいえ」と言いました。

私は言いました、「まあ、あなたはそれに対して何の説教をしますか？」分かりますか？何が悪いのか、間違っているのです。誰かがそれに反対して息を吐く必要があります。そうです。実を言うと、神の怒りが注ぎ出されたとき、あなたはそうしません。言い訳がなくなるからです。

はい、政治、政治、仕事、国家安全保障、すべてが不確実です。

27 今、私たちは教会に降りてきています。いわゆる教会は不確かです。さて、私たちは約900の異なる宗派を手に入れました—この米国、今—そしてすべてが他のものに対してです。では、どこで何を知っていますか？それについて何をすべきか知っていますか？あなたはただ…それはちょうど終わりの時です。私たちは終わりの道にいます。そして、私がそれらを尊重する限り、私はここにメソジスト、そこにバプテスト、ここに長老派などがいて、ブーツやダイビングなどをするよりも、全国にそれらを持っている方がいいです。彼らはどこにいても、少しはうまくいくでしょう。

ミッションはほとんどなく、そして…誰かが言ったように、そして誰かが「私は光がまったくないよりもキャンベライトになりたい」と言ったとき、誰かの気持ちを傷つけないことを願っています。だから私はそれがほぼ正しいと思います。さて、それが何であれ、彼らは少し良いことをするでしょう。そして、それらすべてが必要です。

28 しかし、それは神の計画ではありませんでした。それが私たちの教会と宗派を作るための私たちのプログラムでした。エデンの園で試していました。エデンと同じくらい古いです。「宗教」とは「覆い」を意味します。そして、アダムは自分の道を作るために身を隠そうとしましたが、うまくいきませんでした。

神が人と出会う場所は1つだけです。それは彼の教育にはありません。それは彼の宗派や所属ではありません。それは血の下にあります。そして、それは神がこれまでに人類に出会った、またはこれから出会う唯一の場所で、血の下にあります。それがその場所です。神は流された血によってエデンの園でプログラムを定めました。

そして、神が決定を下したとしたら、それをを変えることはできません。なぜなら、神は完璧であり、神がし、言うことはすべて完璧だからです。したがって、世界があり、罪人がいる限り、彼は自分のプログラムを変えることはできません。罪が最初に犯されたエデンの園から、最後の罪が犯されるまで、唯一のやり方があるのです。贖いの計画は1つだけです。それは流された血を通してなのです。他の何ごともうまくはいきません。私たちの信条、宗派、そしてすべてが役割を果たし、良い役割を果たしましたが、それは神のプログラムではありません。彼のプログラムは血に戻っています。

29 ですから、教会にも不確かな音があります。彼らのうちの一人は「奇跡の時代は過ぎ去った」と言っています。それは聖書には非常に不確かです。分かりますか？もう1つは、なぜ…さまざまなことや…「あなたはこの信条を唱えなければならぬませんでした。」そしてあなたはこれやあれなどをしなければならぬませんでした。さて…それらの数が多いすぎるため、非常に不確実です。それらは、互いに反対し、これに反し、それに反し、そしてその約95パーセントが聖書に反する、あらゆる種類の異なるものを構成しています。

ですから、教会の間、政治の間、家の間には不確かな音があります。すべてが不確かなようです。

30 さて、聖書は、ここ第二テモテ3章と7章で、これらの日々が来ると言っています。それは、彼らは神の愛好家よりも頭が良く、高潔で、喜びの愛好家であり、神の愛好家よりも喜びの愛好家であると言っていました。さて、そうです。

テレビが家に入ってきて、人々を祈りの集会から遠ざけています。魅力的で美しい魅力があります。そして、私はいくつかのプログラムが大丈夫ではないとは言いません。そうでないものはたくさんあります。私たちはそれを知っています。しかし、私はしません…はい、その99パーセントは大丈夫ではありません。しかし、たとえば、その1パーセントがあるとしましょう。さて、あなたがその1パーセントで得たものは、100パーセント正しい生きている神の教会のためにその1パーセントをあきらめることを意味しますか？水曜日の夜に祈りの集会から離れてください。

31 しかし、罪は魅力的です。いずれにせよ、罪は人間にとって魅力的です。なぜなら、彼は私たちの墮落した人種の対象だからです。そしてそれは魅力的です。サタンはそれを魅力的にする方法を知っています。彼は、彼の仕事の天才です。

そして彼は…そして、もし彼が世界情勢でそれをそこに出すことができないならば、彼はそれを教会に直接持ち込みます。彼は私たち自身の立場でやって来ます。それが理由です、兄弟、姉妹、私たちは彼を認めるべきです。教会が、信条や宗派ではなく、経験によって、神を認識し、神を知り、聖霊に満たされることを霊的に認める時が来ました。

32 数日前、カリフォルニアで、私はちょうどボーモントと私たちが会合を持っていたさまざまな場所から出てきました。そして、聖霊の油注ぎは、それがあなたや私たちの他の人たちにかかるように、その時私にとって素晴らしいものでした。そして、あなたは通りを歩いて、ただプレッシャーを感じることができました。さて、あなたがその油注ぎを持っていないければ、あなたはそれにあまり注意を払っていません。あなたはただ一緒にいきます。

聞いてください、教会、それが誰かが私が彼らに本当に苦労していると思う理由です。そうではありません。私は人に対して荒っぽくたくありません。しかし、あなたが神のご臨在を感じる事ができる場所に油注ぎの下に降りてきて、それから罪の臨在に足を踏み入れると、それはあなたを好転させます。そして、あなたはあなたの平和を保つことができません、何かを言わなければなりません。そしてそれは聖霊の油注ぎです。

33 そして、あなたが人々に言うとき、「あなたはクリスチャンですか？」まあ、彼らはすぐに彼らが特定の宗派や組織に属しているとあなたに言うでしょう、分かりますか？そして彼らはそうです—彼らはそれに満足しています。彼らはそれで十分だと思っているようです、それがしなければならないすべてです…彼らが特定の組織に属している場合、彼らがしなければならないのはそれだけです。まあ、それは以前はそうでした。私たちは彼らの人々を冷たく公的なバプテストとメソジストと呼びましたが、今では冷たく公的なペンテコステ派もそのようになりました。それは、ペンテコステ派の教会にあります。一人一人が「私はこれに属しているか、私は…」と言いたいのです。そして、それは大丈夫です。私はそれを非難していません。大丈夫です。しかし、あなたがなりたいのは、ペンテコステを公言する場合、ペンテコステは、聖霊のペンテコステの経験で生まれ変わった男性または女性、男の子または女の子の経験です。

そして、あなたがそれを受け取るとすぐに、全世界があなたを圧迫しているように見えます。ああ、あなたはキリストと自分自身を結びつけました。そして、その時代の世界がとても罪深いとき、それは彼の目と悲しみに涙をもたらし、彼の体に死さえもたらしました。今日はどうなると思いますか？

34 私はある場所にいました、それはアテネかどこかにあったんだと信じています。私は—私は一壁の上に皿のような絵を見ました。いいえ、申し訳ありません。ごめんなさい。「真夜中までの3分」の有名な写真の録音または写真で、私はそれを持っています。科学はそれが私たちが生きている場所だと言っています。真夜中の3分、それは約3分と言われています。4、または5年前でした。私たちは今、時が刻々と過ぎていく「秒」に入っていると信じています。今、私は間違っている可能性があります、それは私にはそのように思えます。そして、彼らは、皿の上にあるようなキリストの絵と、彼が地球を見下ろしているときの涙が彼の顔から落ちていました。

そして、神が人を造られたことで彼を悲しませたとさえ言われたノアの時代のようなものではないのだろうかと思います。今夜、その場所に再び到達していないのではないかと思います。彼が創造し、彼自身の

ために与え、そして贖ったまにその人が、その人を贖うために、そして彼はそれを彼の顔に戻します。私たちが生きているこの恐ろしい時代、教会に加わったばかりの…それは…

35 あなたがクリスチャンだと思っていて、告白して教会に加わったために何かクリスチャンだと言ったとしたら、それは不確かな音です。それが今日の理由です、人々はリバイバルに興味がありません。それは世界がそれを望まないからという理由なのです。私たちはそれに確かな音、間違いのない音を持たなければなりません。

そして、その理由は、今日、私たちがただらと続くだけの集会や集まりをしているとき、彼らは本当の確かな音を得られないからです。しかし、彼らがペンテコステの日にリバイバルが会った時、彼らが設定していた家全体を吹き抜ける強烈な風のように、天から確かな音が来たのでした。それは確かな音でした。それは神が彼らの真っ只中にいた証拠でした。

36 今日の教会は、門の東にあるエデンにあったのと同じです。カインがいました。彼は祭壇を作りました。彼はそれをそこに建て、エホバの記念に建てました。彼は不信心者ではありませんでした。彼は祭壇を作り、エホバを記念してそれに犠牲を払い、祭壇の上に身を置き、神に呼びかけました。そして神はそれが正しい音を持っていなかったので彼の呼びかけを拒否しました。そこには泣きつき求めるものは何もありませんでした、それは死にかけていました。彼をの苦痛を和らげるための死ではありませんでした。人々の罪は死によって支払われなければなりませんでした。「あなたがそれを食べる日、その日あなたは死ぬ。」そして彼は花をつけてきれいにしましたが、死を共にするものは何もありませんでした。

37 そして、アベルの祭壇からは子羊の鳴き声が聞こえてきました。罪の支払いをするための死がありました。血が流されていました。

そして今日、神が…彼がカインに言ったその日と同じように、カインは落胆しました。彼は言いました。「これが私にできる最善の事です。あなたはそれを取るか、それから離れる事ができます。あなたはそれについてやりたいことは何でもしますが、それについて私ができることはそれだけです。」

それが現代のクリスチャンが今日している礼拝の方法です。「私は教会に行きます。私は説教者を助けます。私は自分の十分の一税を支払います。私—私—私は…もし彼らが社交パーティーを開いた場合、私—はそれにおいての自分の役割を果たします。そして、もし彼らが宣教師のための捧げ物を必要とするなら、私はそれを手伝います。」それは良いことです。しかし、それは神が要求するものではありません。

彼は死の音を聞かなければなりません。神を祝福してください、今日神が望んでいるのは、あなたが死ぬこと、世の事柄とあなた自身のために死ぬこと、「主よ、私をそのままの私をお使ってください」という叫び声を聞くことです。それが神が望まれておられることです。彼はその死の音、老人アダムの子の死の音、死にかけていること、彼が入って彼の場所を取り代わりになり、あなたを支配し、あなたの主になることを望んでおられるのです。ああ、私たちが生きているのはどのような時なのでしょうか？

38 さて、分かるのは…神はカインに言われました。彼は言いました、「あなたの兄弟アベルのように礼拝してください。そうすればあなたはうまくいくでしょう。先に進んで、彼と同じやり方をしてください。そうすれば大丈夫でしょう。」しかし、もし彼がそうしなかったなら、罪は戸口に横たわっていました。そして今日も同じこと…ですから、教会、いわゆる教会には確かな音がないことがわかります。

さて、教会—私たちは教会を今日の教会とし、教会組織と呼びます。それが教会だと言います。「ええと、あなたはどの教会に属していますか？」どうして、教会は一つしかないです。一つだけなのです。多くの組織がありますが、1つの教会、組織は沢山あります。そして、はっきりさせておきたいのですが、私には何も敵対していません。彼らは大きな役割を果たしてきました。しかし、それはまだです。そうではありません。

39 …を通して、「教会」は「呼び出され、分離された」という意味です。そして、2人が同時にあなたの中に住むことはできません。あなたは神に仕えるために世のものに死ぬ必要があります。神とマモンを同時に愛することはできません。そして、世への愛が信者の心にある限り、彼は群がり、神が彼に与えた特権を自分自身によって取り上げられることになるのです。神はあなたが恵まれない状態になることを望んでいません。彼はあなたが彼が死んだ理由のすべての特権を持っていることを望んでおられます。彼が教会に与えたすべての特権、彼はあなたにそれを楽しんでほしいと望んでいます。それはあなたのものです。

もし私が私の小さな男の子に自転車を買ったとしたらどうでしょう—彼はそれを私の顔に投げ返し、「私はその物は欲しくない」と感謝せずに言いました。もしあなたがあなたの小さな女の子、つまり小さな人

形を買って、彼女がそれを手に取ってあなたに投げ返したとしたらどうでしょうか？ほら、神が私たちに与えられた特権の下で生きようとするとき、それが私たちのやり方なのです。キリストは私たちがこれらの特権を持つために死にました。ああ、私たちが他のプログラムを採用し、聖霊を彼の顔に投げ返し、「私たちはもうその狂信は必要ない」と言ったとき、彼は今日どのように感じなければならないか。

40 「私はただ教会に参加します。私—私は…」教会に参加することはできません。教会に加わるようなことはありません。あなた—あなたは組織に参加するかもしれませんが、教会には生まれなければならないので、教会に参加することはできません。それに加わるなんてことは不可能なのです。あなたはそれに生まれなければならない。そして、すべての信者は神の教会に生まれます。組織であるチャーチオブゴッドではなく、生ける神の教会です。それは死からよみがえられたキリストであり、私たちの間で生きておられるのです。それは…今…

それから、彼らが「私はペンテコステ派の集会です。ペンテコステユナイテッド(UPC)です。私はペンテコステ派のチャーチオブゴッドです。私はペンテコステ派のホーリネスです。私はメソジストです。私はバプテストです。私は長老派です。」それらすべて、それに関しては大丈夫です。

41 私はこれを言って冒流しようとするつもりはありません。スイカを食べている年取った黒人の方…彼らは彼にそのスライスを与えます。それをすべて直して、彼はそれを食べました。そして、それはちょうどそのようにそれを滑り落ちて、彼の口の側面から種を打ちました。「あのモーゼはどうでしたか？」と言いました。

彼はそれの他の大きな部分を見ました、あなたが知っているように、その小さな部分がどこに出てくるか。彼は、「ボス、それは良かったが、それ以上のものがある」と言った。そういうことです。これらの組織は大丈夫ですが、さらにいくつかあります。それが私たちが望んでいることであり、それ以上のものです。

42 はい、「いつも学んでいるが、真理に達することは出来ない。高慢な者、神をそしめる者、そしめる者、無節制な者、善を好まない者、裏切り者、乱暴者、高言をする者、神よりも快楽を愛する者、」気づきましたか？この章の冒頭で、「御霊ははっきりと語り、終わりの日には…」と言いました。それが条件になるでしょう。終わりの時には、人々は自然な愛を見せたり、自然な愛すらなくなり、自分自身を愛するものとなり、誇り高く、自慢している人、冒流者となるのです。「無情な者、融和しない者、そしめる者、無節制な者、粗暴な者、善を好まない者、裏切り者、乱暴者、高言をする者、神よりも快楽を愛する者、信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう。こうした人々を避けなさい。…」さて、それは神の言葉であり、それは成就されなければなりません。「信心深い様子をして言えるが、その実を捨てている。」

分かりませんか、彼らはその確実な音から離れているのです。彼らは不確かな音を使うことにしたのです。入って言った、「…私たちは教会に加わりました。私たちはバプテスマを受け、その本に自分の名前を書きました。」さて、それは不確かな音です。

43 そして、世界で最大の偽善者の1つは、本物の音にほとんど似ている音を持ち、それが適切な音ではないことについて十分に理解していることです。これまでに言われた最大の嘘は、それに多くの真実を持っているものであり、そして最後に、それは嘘をついているのです。

それがサタンがエバに告げたやり方なのです。彼女はそれにだまされました。その女性はそうするつもりはありませんでしたが、それはとても真実に聞こえたので、彼女はだまされました。分かりませんか？

そして、彼らがあなたに言うとき、あなたはただ教会に参加して大丈夫になるか、振りかけるか、特定のことをバプテスマを施すか、何かをすることができます、それは大丈夫です、それはそうではありません、兄弟。

人は水と御霊から新たに生まれ、聖霊に満たされなければなりません。分かりませんか？そうすると、彼は新しく創られたものなのです。そうすれば、正しく聞こえる確かな音が得られます。

44 さて、音が入ると、耳の聞こえ方が変わります。分かりませんか？以前は聞こえませんでした。今、あなたはそれを聞くことができます。神の癒しについて説教している誰か、あなたがそこに置いた神の力は、あなたがそうすることができるように耳に割礼を受けていないだけで、何も聞くことはできませんでした。「私の牧師はそれを信じていません。それは狂信的だと思います。」しかし、強烈な強風のような別の音に来て、それらの耳を包囲するとき、あなたが急いでいるその音を聞きに行くとき、それは美しい音なのです…

ああ、あなたが最初に知っていることは、それはあなたの魂に喜びの泉をもたらし、あなたは叫びます、

「アーメン。そうです。それを伝道してください、兄弟。ハレルヤ。それは良いことです。」分かりますか？それであなたは動いてしまいます。あなたはどこかに行きます。

45 しかし、今日、それはただ「教会に参加する」だけなわけです。ほら、それは不確かな音です。「裏切り者、乱暴者、高言をする者、神よりも快樂を愛する者、…」それは第2テモテ3章—第2テモテ3章7節です。「常に学んでいるが、いつになっても真理の知識に達することは出来ない」分かりますか？常に学んでいる、いつまでも達しない…兄弟、私たちは神学校、学校、Ph.D.、Dh.D.、DDD、QST、そしてあらゆる種類のもので手に入れました。「常に学んでいるが、いつになっても真理の知識に達することが出来ない。」そうなのです。博士号を取得し、私たちは子供を送って、どこかの神学校に、彼に大きな学位またはそのような何かを取得します。そして彼は出てきて、そして彼はそうしました、彼は…それでも何か問題があります。

できません…私たちが今日必要としていること（そして私の声明を整えさせてください）、今日、説教…福音の説教者であるミニスター（奉仕者）は、それほどの人間ではありません…彼はまだこれを持っていて説教者になることができましたが、私たちは学士号を取得した方法に依存しています。そして、どのように聖書を使って、これを学んだか。

46 悪魔はあなたがこれまでに知るよりも聖書についてもっと知っています。それを今お話しします。彼はすべてを知っています…1つ…私が今まで出会った中で最高の聖書の学生の何人かは不信心者でした。彼らはそれについて昼も夜も勉強して（そうです）、あなたと大騒ぎします。それ—それは…聖書について大騒ぎするべきではありません。聖書はそれによって生きるものなのです。ほら、その種子を不毛の地に置くと、生きられなくなります。しかし、あなたがそれを肥沃な地面に置くならば、それは生きます。

少し前にここで読んだことがありますか、彼らがどのようにしてエジプトの収穫者から小麦の一部を取り出し、ヨセフがそこに入れ、4000年前のヒマワリの種を手に入れました—ヒマワリの種、4000年前、それを地面に植えると、ひまわりが生まれました。アーメン。小麦は小麦を生み出します。なぜですか？発芽しました。その胚芽は死にません。ほら、そこにあります。

47 そして、彼らがあなたをどこに置いたとしても、あなたが生まれ変わって聖霊に満たされているなら、あなたは小さな指の爪を握るのに十分な灰ではないかもしれませんが、あなたは再び出てくるでしょうあなたが命を得たので、復活するのですあなたは力に耐えてきました、そして—高いところから、そしてあなたの中に命があるのです。起こった音、音、何が起こったのか知っている確かな音があります。あなたは死んで、生まれ変わったのです。あなたは新しく創られたものになります。

不確かな音…仕事の不確実な音、国政の不確実性、政治の不確実性、家庭の不確実性…それからあなたは私に言うかもしれませんが、「ブラナム兄弟、あなたはすべてが不確かだと言っています。確かなことはありませんか？」はい、確かなことが1つあります[テープ上の空白のスポット—編集]…？…それは永遠に真実です。それは永遠に確実です。ああ、あなたはそれから決して逃れることはできません、それは一つの章です、イエスは35節で言われました、「天地は滅びても、私の言葉は滅びることがない」と言われたのでした。そして、それは永遠の確信です。

さて、私たちは国政、仕事、政治、そして私たちの宗派などにこれ以上信頼を置くことはできません。しかし、確かなことが1つあります。それは、神の言葉と神の約束です。神が何かを言うとき、それは永遠にそれを解決します。

48 ここでしばらく前に、彼らはそれを言おうとしました—神が非常に多くの過ちを犯したと。ご存知のように、彼らは言ったのです、ダビデがハープを弾いたとき…科学は、ダビデの時代にハープのようなものがなかったことを絶対に証明しようとしてました。彼らにはハープはありませんでした。しかし、最後に、彼らはハープがあったといういくつかの証拠を掘り起こしました。

アブラハムがラクダを持ってゲラルに降りたとき、彼らはそこにラクダは決していなかったと言いました。しかし、ここで、つい最近、彼らはいくつかの骨を掘り、そこにラクダがいるを見つけました。分かりますか？だから…

49 彼らは聖書は真実ではないと言いました。彼らは掘り下げて、彼らがエデンの園と呼んでいるものを見つけ、どこかの文明の始まりに過ぎないことを証明しました。そして、彼らが聖書を反証しようとして掘り下げたとき、彼らは…イザヤがヘゼキヤを沸騰させて癒したところに書かれていた岩の上に…を掘り起こしました。それを証明するためだけに…

そして彼らは、エリコの壁は倒れなかったと言いました。そのようなことはありませんでした。彼らはあちこちを掘り、壁のようなものはありませんでした。そして、ある特定の博士がそこに行って、下に、下に、下に掘り下げて、彼らが彼らが掘っていた場所の20または30フィート下にあることを知りました—彼らはそこにいて、お互いに重なり合っていました、まさに聖書に書かれていた通りなのです。結局、神は正しかったのです。うーん…

彼らは、あなたの偉大な、偉大な、曾祖父が批判家であるならば、「彼らは馬がそれに引っ掛かることなしに行く馬車になることはできない」と言いました。しかし、とにかくそれはわかりました。そうです。そして、神が語られたこれらすべてのことは、永遠の真実です。

50 ここで少し前に、聖書のソロモンについて、「人が心の中で考えるように、彼もそうだ」と言われたときに質問されました。

それで、科学者は言いました。「ここを見なさい。人間の心には精神的な能力はありません。ソロモンは彼の頭を意味しました。」ええと。彼が「頭」を意味して言ったのだとしたら、彼は「頭」と言いました。それだけです。

私—聖書はまさにそれが書かれている通りであると信じています。ただ…それが神の言葉だと思います。ただ…私はそれが神であると信じています。神は御言葉に勝るものはありません。あなたはあなたの言葉に勝るものはありません。あなた自身の言葉が、その日にあなたが裁かれるためにそこに立つのです。

51 さて、約4年前のシカゴで…マットソン・ボーズ兄弟の小さな女の子、ジョイスは来月結婚する予定です。素敵な女の子。彼女はいつも私に何かを言って笑っています。彼女が何かについてしなければならない小さなひびが入っていることについて言って、いつもちょっとした冗談を言ってくれます。そして彼女は私に言いました「今日の新聞の内容を聞きましたか？」

そして私は言いました、「さて、ちょっと待ちましょう、ジョイス。さて、あなたは今何を言うつもりですか？何ができるのか…」

「いいえ、これは違います、ブラナム兄弟」と言いました。「私はそれをあなたに持ってきて、あなたに見せます」と言いました。「人が心の中で考えていることについてあなたが言うのを聞いた」と言った。私はそれを聖書で読みました。彼女は言いました。「さて、今日、彼らはそれを見つけて証明しました。それは人の中には…ではありません…それは他の心ではなく人間の心にあります。それは動物の心にはありません。しかし、心臓には小さな房があり、科学は魂がとどまる場所であると言っています。」ですから、神は「人が心の中で考えるように…」と言われたとき、正しかったのです。分かりますか？心には精神的な能力があります。

52 さて、あなたが言うとき、「さて今…私—私は…」あなたは今までに…皆さんはこれを経験しました。「まあ、私は、それが起こり得るかどうかはわかりません」と思うときがあります。そして、一度に何かがあなたに言うだけで、それは起こるでしょう。他の誰かが何を言っても、あなたはそれが起こることを知っています。私たちは皆、それらを経験をしました。それはあなたの心が考えているときです。それがあなたに告げるあなたの心です…

さて、思いは推論しますが、心は推論しません。それはただそれを信じています。もし私とその家を聴衆の一人に連れて行くことができたなら、本当の癒しの奉仕があります。聴衆にそれを見てもらうことができたとしたら、それはあなたの頭がまったく考えていないことです。悪魔がとどまる場所がありますが、彼はそれを推論します。「私は病気です。元気になれない。私—これを手に入れました…または私は救われません。私—私—やりすぎです。」ほら、それが推論なのです。しかし、私たちは推論を捨てなければなりません。そうです。私たちの推論を捨てて、私たちは心で信じるのです。

53 エデンの園では、人は二つの部分に分かれていました。悪魔は彼の頭を取り、神は彼の心を取りました。悪魔は彼に物事を見て、「まあ、それは起こり得ない。私はそれを推論することができます。」そして神は彼の頭が何も知らないことを信じさせるために彼の心を彼の心に宿せました。そうです。ですから、それはあなたの心の中にあると思います。ここで、本物の確実な音が出てくるのは心からなのです。神が語る場所があります。そして、ここから悪魔が話します。それでは、悪魔が言ったことを捨てて、確実な音を取りましょう。そして、その確実な音は神が私たちの心の中で話していることです。それは真実です、神の約束です。

次の3~4分間インタビューしてみましょう。彼の約束を果たしたもの、そしてそれらが現実であったかどうかを見つけてください。彼らは彼らについて推論しませんでした。神はあなたに物事を考えさせ、人間の頭

に不合理なことをさせます。ご存知ですか？

54 ここに椅子、車椅子に座っている小さな男の子がいます。おそらく、彼のママとパパが彼を連れてきて、彼は…たぶん、医者には彼のためにできることはすべてやったのでしょう。分かりますか？彼は「それはすべて終わった」と言いました。さて、もしあなたが彼の言うことを聞くつもりなら、それはすべて終わりです。しかし、ここで何かがうまくいき始めた場合、兄弟、それはそれとは異なります。それは別の音です。

さて、この音は「終わった」と言っています。しかし、この音は確実な音です。これは拒否されます。さて、依存しています…そして、これはそれを否定しようとし、その逆も同様です。しかし、どちらを聞くかによります。

55 インド人がその時そうだったように、それは救われました。「どうやって仲良くしているんだ、チーフ？」と言いました。

「まあ、私が救われたので、私の中には2匹の犬がいます。」と言いました。そして言いました「一つは白い犬もう一つは黒い犬。そして、白い方は私に正しいことをしてほしいと思っており、黒い方は私に間違っただけをしてほしいと思っています。」「彼らはずっと戦っている」と言いました。

彼は言いました、「まあ、どうやって…どうやって仲良くするの？どちらが勝ちますか、チーフ？」

彼は、「どのチーフが最も多く餌を与えるかによる」と言います。まあ、それだけです。あなたが理性に耳を傾けるつもりなら、あなたは常にこの仲間を征服させるでしょう。しかし、心の中で働く確かな音、神の言葉を聞くなら、これを征服するでしょう。どれを食べますか？

不確かな音に耳を傾けないでください。神が奇跡を起こし、科学が何も知らないことを実行するという証拠が、あらゆる時代を通して絶対にあるからです。そうです。ですから、この人の言うことに注意を払わないでください。この人が話しに行くとき、この人が邪魔にならないようにしてください。そうです。

56 さて、例えば、聖書の中で、彼らの推論に耳を傾け、決して話さなかった2、3人の人々を取り上げます。彼らは彼らに話しかけました—この確実な音。

神はノアに会いました、そして彼は言いました、「ノア、雨が降るでしょう。そして私は、あなたの家族を救うために、今すぐ箱舟を作してほしいのです。」さて、あなたはそれがその時まで地球に一滴も雨が降ったことがなかったことを知っていましたか。雨が降ったことはありませんでした。さて、想像することが出来るでしょうか、あなたは科学が…あなたは「彼らは…ではなかった」と言いますそうそう、彼らもそうだった。彼らはカインの家系から出てきました、そうです、偉大な科学者、私たちが今日持っているものをはるかに超えて、より偉大な科学です。

57 彼らは彼らの時代にスフィンクスとピラミッドを建てました。今日はそれはできません。彼らは…として材料を持っていましたそして、それが原子でない限り、彼らは私たちが持っているものを超えた力を持っていました。彼らはそれをうまく利用していたのでした。そして、彼らは私たちがそれについて何も知らないことをしました。

彼らは彼らの時代にはミイラを作ることができました。しなければならぬのなら、今日はそれをすることができませんでした。そのようなことはなく、今日ミイラを作っていますが、彼らはそうしました。分かりますか？彼らは、数千年後の今日まで、自然にふっくらと見えるように防腐処理を施すことができました。我々にはそれはありません。

彼らは長持ちする染料を持っていました、そして私たちが持っていない多くのものがそこにありました。彼らの科学は私たちよりも上を行っていました。さて、科学は試みましたが一言言いました「さて、私達はあなた方に聞きたいことがあります。その水は世界のどこから来ているのですか？星までずっと見えます。月までずっと見えます。私は太陽までずっと見ることが出来ます。私達には、ここには、月にメッセージを送ることが出来る器具があります。星を越えて火星に行くことができます。水のどこにあるか教えてください、ノアさん。」

58 「まあ、教えてあげましょう。ある日音がして、箱舟を作るように言われたのは神の声でした。そして私は…私たちが住んでいる世界があるのと同じように、神はそれを水で破壊するのです。そして、それは天国からすぐに雨が降るでしょう。神はそれをそこに置くことができます。もし彼がそれが来ると言ったなら、彼はそれを道にするでしょう。」そうなのです。

さて、最初の批評家、その音が確かであることが確実にないとわかっていた場合、「まあ、多分私は…多分私は誤解したかもしれない」と言いました。それが今日の人々のやり方です。

医者「あなたは良くない」と言います。

「まあ、多分私は誤解しました。多分、私一人は…」ああ、何という事。分かりますか？しかし、その確実な音を確認されているなら…

59 ラッパが不確かな音を出す場合、誰が戦いに備えることができますか？それが不確かな場合、兵士が戦闘の準備をしていて、戦闘に行くための通常の音と同じように音を出して音が出なかった場合、兵士は何をしますか？音に特定さがなければ、彼は退却するのか、戦いに行くのか、落ち着くのか、それとも夕食を食べるのか、何をするのか、寝るのかを知りませんでした。

ですから、神の御言葉に躊躇することはありません。それは確かな音、確定した音を出します。神が個人に話すとき、それは確かです。私は他の誰かが何を言っているかは気にしません。科学が言っていること、国が言っていること、世界が言っていること、教会が言っていること、他の誰かが言っていること、それは確かです。神の御言葉は確かな音です。それを聞いて従ったすべての人も何かをしました。

60 さて、ノアは神の警告を受けて、動かされて、彼の家族を救うために箱舟を準備しました。それは確実な音でした。神は雨が降ると言われました、そして雨が降りました。そして、逃げ道を見つけた人々はそれを取りました。そうしなかった人たちは、死にました。「雨が降るだろう」と言った同じ神は、「火が天から落ちて世界を破壊するだろう」と言いました。そして、あなたのために準備する方法があります。それを取る人はそれを逃れるでしょう。そうしない人は滅びます。罪人は罪深い世界と共に滅びますが、贖われた者は聖霊によって贖われるでしょう。

ノアはその箱舟のドアのすぐそばに立って、地上に裁きをもたらし、人々を裁きました。彼らはメッセージ、神が何をしようとしているかを信じていなかったからです。そして、彼は箱舟の扉に立って義化を説くことによって、神の怒りを地上にもたらしました。扉の中に立って神の言葉を宣言しました。神が何かをするつもりであることが確定した音として彼に現れたからです。

61 今夜、あなたの兄弟として、私はこの箱舟、キリスト・イエスの扉に立ち、彼が救い主であり、癒し手であり、来るべき王であることを宣言します。そして、扉にあるこれらのミニスター達のメッセージから、国と世界を裁く神の怒りをもたらすでしょう。それは確実な音なのです。私たちはそれを知っています。それは神の御言葉なのです。そして、救いのためにキリストを求めないものはすべて滅びます。罪を犯した者は罪とともに滅びます。彼らは世のものであり、世と共に滅びるでしょう。

ノア・神が逃げるために持っていた唯一の準備の扉に立っていたので、彼は箱舟の中のその上に乗りました。そして今日、あなたの教会はあなたを救うことはないと言います。あなたの信条はあなたを救いません。聖霊であるあなたを救うには神が必要です。そしてあなたは聖霊によってキリスト・イエスの箱舟のバプテスマを受けます。「一つの霊によって私たちは皆一つの体にバプテスマを受けます。」あなたを救う唯一のものなのです。聞いてください！不確かな音を受け取らないでください。「私はメソジストです。私はバプテストです。私はペンテコステです。私はこれを行いました。私はこれをしました…私は…」それを取らないでください。それは不確かな音です。しかし、神が入ってきたとき、それは確かな音です。あなたはそれについて知っています。すべて…あなたがこの地球に住んでいる限り、あなたはまだそれを知っているでしょう：それはあなたに起こる何かです。

62 それが現れる前に、それが実現する前に、それはノアを狂ったように振る舞わせた確かな音だったのでした。

キリストを受け入れ、聖霊に焼かれた今日の教会もそうです。人々はそれらの人々は狂っていると思います。彼らの何人かは、「ブラナム兄弟、あなたはまだバプテストですか？」と言います。

私は「いいえ、私はペンテコステ派です」と言いました。

「なに？」

私は「ペンテコステ」と言いました。

「どういう意味ですか？」

私は言いました、「私は神の御霊から生まれ、聖霊を受けました。」私は「私はペンテコステです」と言いました。

「ああ、あなたは最深部を離れました」と言いました。

私は言いました。「いいえ、確かな音を聞きました。それはここから来ています。それはこの聖書のページから、鐘のようにはっきりと鳴り響きました。私がそれを受け取ったとき、私は何が起こったのかを知っています。私はそこにいました。私はそれが起こったことを知っています。」確実な…それは私を死から生へと変えました。それは私のために何かをしました。それは確実な音なのです。それは…

63 私は人々に対して狂ったように行動することを知っています、そしてあなたはそれを受け取った人々に対しても狂ったように行動します。しかし、私たちは自分たちがどこに立っているかを知っています。私たちは何について話しているのか知っています。それは本物の音なのです。聖書に出てくるのと同じ種類の音が、私たちを同じように行動させます。同じ音なので、黒人、黄色人種、褐色の肌の人もすべて同じように振る舞うのです。アーメン。確実な音。

ラッパは不確かな音を出します…まあ、私はメソジスト、バプテスト、長老派、名前でペンテコステ派、またはそれ以上である可能性があります。ほら、その確実性はありません。しかし、その確実な音が来るとき、あなたはそれを知っています。それは確実な音なのです。

64 さて、ノアがそこに立って、雨が降ると説教してはどうでしょうか。だから、人々は彼を笑ったのです。しかし、ある日、それは明らかにされました。そうです。ノアはすぐにドキドキし、すぐに立ち、材木をつけ続け、ドキドキしました。それから彼はそこに出て、箱舟を建て：彼はそれにタールを塗ったのでした。

さて、それは糸杉の木で作られていました、そしてあなたがそれがそこにある最も軽い木であることに気づいたら；バルサムより軽いです。そして、それが箱舟が作ったものなのです。それが教会なのです…それがあなたをつくっている物、この箱舟の材木です。薄い木と軽い木でできています。彼らはそれで何をしましたか？彼らはそれからすべての樹液を取り出し、それを軽くし、それが本当に乾くまでそれを乾かさなければなりません。そして、それには柔軟性があります。あなたはそれを使うことができます。

65 私たちの中にはたくさんあり、曲がり始めるたびに壊れます。しかし、あなたはすべての世俗的な樹液をあなたから取り出し、すべての世の樹液をあなたから取り出し、それを火の上にかざす必要があります。火が樹液を引き出します。そして、私はあなたに言います。それが今私たちから樹液、世俗的な樹液を引き出すために必要なものです。

その時、彼らはそれで何をしましたか？彼らは木を取り、ロジンの木を切り倒しました。そして、単にそれを切り倒すだけでなく、彼らはそれを取り、それを打ち負かしました。そして、彼らはそれからロジンを打ち負かすまでその木を打ちました。それから彼らはそれからロジンを取り出して、この糸杉の木に注ぎました。そしてそれが起こったとき、それはこれらすべての裂け目を埋め、それは鋼よりも硬いのです。そうです。

それからそれは箱舟の中にありました。そして、神はそれを外側に立てましたあるいは、モーまたはノアはそうしました。内側と外側で、彼はそれを塗りました。まあ、それはまさに神が彼にそれを建てるように言われた方法です。

66 そして、それが今日の私たちの構築方法です。これらの水や物を教会に注ぎ込んで何かを作ることはできません。あなたは前向きにも後ろ向きにもバプテスマを受けることができます。あなたが何をしようとも、それは何の役にも立たず、少しも役に立たないでしょう。私たちは信条について、滴礼について、注ぐことについて、これについて、それについて、そして他について議論します。さて、それがあなたが得たすべてであるならば、それは何の利益をもたらしますか？そうです。

67 そして私は、彼らがこれまでにそうする唯一の方法だと言いました…私が小さい頃、ある時…そこには..がありました兄弟と私は農場に戻っていて、そこには…彼がいたときに私たちは年老いた亀を見つけました…あなたは彼らがそのように彼らの足で歩く方法、変な見た目のもので知っています。そして、兄弟と私はそれが私たちが今まで見た中で最もおかしな見た目の生き物だと思いました。それで、私が彼に近づいたとき、彼はシー [ブラナム兄弟が音を立てる一編集]に行き、そのように引き戻されました。

ちょうど、あなたが知っているように、あなたは福音を説教し、それを実際に置くようになります、あなたは彼らが年取った亀がただ船体に引き戻りたいことが分かるのです。「…？…行きます。」はい。

そして私は彼のところに行きました。私は「彼を歩かせてもらえませんか?」と言いました。ええと、私たちは彼をつまんで、できる限りのことをしました。彼一彼は歩きませんでした。彼を押ししたり、蹴ったりしても、歩かせることはなかったのです。さて、私は行き、スイッチを手に入れました、そして私はそれを彼に注ぎました、そして彼は歩きませんでした。そして私は「まあ…」と言いましたそして私は…あなたは…それだけです。あなた—あなたはできません—あなたはそれを彼らにむち打つことはできません。それで私は「兄弟、私は彼を直します」と言いました。

68 私たちはその泉と…水の穴に出かけました。私は彼をそこに突き刺しました。私は彼を溺死させれば、彼は歩くだろうと言いました。そして、私は彼をそこに押し付けました。ほんの少しの泡が出てきて、それだけです。彼は大丈夫だった。そして兄弟たち、あなたは…水はそれをしません。

しかし、あなたは私が彼をどのように歩かせたか知っていますか?私は一枚の紙を手に入れ、小さな火をつけて彼をその上に置いた。兄弟、彼はその時歩いたのです。はい。

教会を正しく歩かせ、正しく行い、それ自体を示す何かがあるなら、それは聖霊のバプテスマであり、天から神から降りてくる火は教会をまっすぐにするでしょう、これについての騒ぎやそれについての騒ぎはありません、しかし、降りてきてあなたの心から物事を一掃する神の燃えるような愛のバプテスマは、あなたをキリスト・イエスの新しい生き物にします。女性は髪を伸ばし、男性はタバコの喫煙をやめます、そして私はあなたに言います…そして、もしあなたがそれらに火をつければ、これらすべてのものはまっすぐになるでしょう。本当です。

さて、彼がこれをしているとき、ノアにはひどく奇妙に見えました、しかし彼はそうでした—その確実な音を聞きました。それが彼が望んでいたことです。

69 それでは、別の人を見てみましょう。砂漠の裏側に、モーセという名前の男が、かなりの教義に溢れていました。彼はすべてを知っていました—すべてのものの詳細。彼は世界で最も賢い人々であるエジプト人に教えることさえできました。彼は彼らにいくつかの神学を教えることができました。

しかし、ある日、彼は何か燃えているのを見て、親切にも彼を惹きつけました。それが今日必要なのです、これらのモーセの何人かをこのあたりのどこかに引き付け、これらの罪人の何人かを引き付けるために燃えている教会です。魅力を与えるには火が必要です。

あなたは悲鳴を通りに上げさせ、「火事」、本物の…誰もが自分の車に飛び乗ってそれを追いかけてやります。火には魅力的なものがあります。今夜必要なのは聖霊と火です。それは何かを見ている信者を引き付けるでしょう。

70 ベン・ペンバーメンという私の旧友を覚えています。ああ、彼はかなりの人です。セントルイスで彼はそこでテント集会を開きました、誰もそれに出席しませんでした。それで彼はダウンタウンの真ん中にある小さな通りを走り、叫びました「火事だ!火だ!火だ!火事だ!」そして通りを上って、彼はできるだけ強く帽子を投げに行きました。そこにテントがあり、誰もがこの狂った男に何の問題があるのかを見るために走り始めました。彼はそこに駆け上がり、ポールを跳び上がってすぐ下に来て(ちょうどピエロのように)、すぐ下に来て説教壇に飛び上がり、「聖霊と火!」と叫びました。それから彼ができる限り一生懸命に説教を始めました。それは…ほら、何か…注目を集めるのです。そして、道から外れかかっている人を引き付けるための最良のことは、聖霊と火です。それが神のやり方です。

71 さて、モーセはそれができるとは思いませんでした。彼は自分の教義の観点からそれを試しましたが、うまくいきませんでした。しかし、神はある日彼に話しかけ、「モーセ、靴を脱いでください。あなたがエジプトの王子であることは知っていますが、私の目には何もありません。靴を脱いでください。あなたは聖地にいます。全てを取り除きましょう。あなたが手に入れたものをすべて取り除きましょう。」そして彼は音を聞いた。彼は言った、「わたしの民を救うためにあなたを遣わすつもりです。」さて、それは不確かではありませんでした。

さて、モーセはそれが不確かではないことをどうやって知ったのでしょうか?もし彼がこう言ったとしたら「これは私に誰と話しているのですか?それはなんですか?」彼に話しかけた声はまさに聖句と共にあったからです。それが確かな音なのか、それとも不確かな音なのかを知る方法です。もし聖書が…あなたに話している声が聖書的でないなら、それを聞かないでください。分かりますか?しかし、それが聖書であるなら、それを聞いてください。なぜならそれは神の声だからです。分かりますか?彼は言った、「わたしはわたしの民の叫びを聞き、彼らの仕事、彼らの苦しみ、彼らの主人、彼らが何をしたかを見て、わたしの約束と契約を覚

えた」と語った。分かりますか？

モーセは、「それはまさに聖句なのです」と言いました。さて、それがあなたのやりたいことです。どんな音が出るか聞いてください。それが聖句の音かどうかを確認してください。神の約束が真実であるため、それが聖句の音であるなら、それは確実な音なのです。もし聖書なら…

72 小さな学者が神学校から出てきてこう言うのを聞いたら、「ああ、神の癒しのようなものはありません。それはすべてうまく作り上げているのです。」聞いてください、兄弟、それはやかましい鐘や騒がしい応鉢(シンバル)である。それを聞かないでください。はい。

しかし、彼が「イエス・キリスト、昨日も今日もいつまでも変わらないのです」と言うのを聞くと、それは確実な音です。それはまさに、「私は主であり、あなたのすべての病気を癒す」ということです。それは確実な音なのです。分かりますか？今、あなたは不確かではなく、確実な音を聞きます。今…

73 そしてモーセは確実な音を持っていたので、降りて行って子供たちを救いました。ヘブライ人の子供たちは、その夜の祈りの集会で間違いなく確実な音を聞きました。「私たちの神は私たちを救うことができます。それだからこそ、私たちは彼の言葉以外は何も取りません。私たちはまさにそれに忠実に立っています。何が起こっても、私たちは行きます…」それは確実な音でした。そうです。彼らは彼らが何について話していたかを知っています。

74 75歳の農民であるアブラハムはおそらく異教徒であり、彼らがすべての迷信を持っていたバビロンの塔から降りてきました。ところが、ある日、野外で運動をしていると、音がして、それは確実な音でした。25年後、音が現れたという証拠はなく、彼はそれを最初の二回だけだと信じていました。そういうことなのです。

神は言われました、「アブラハム、あなたは知恵を持っているでしょう。あなたの妻は赤ん坊を持つことになっています。そして、彼女は現在65歳で、あなたは75歳であるが、私は主である。私—私はその赤ちゃんを連れて行き、それを通してあなたを世界の国々の父親にします。私はあなたを今、諸国の父親にする。」そしてしばらくして、彼は彼に会い、彼の名前を変えて、彼を「アブラハム」、「アブラム」から「アブラハム」と呼び、彼に彼の名前の一部である「エロヒム」を与えました。そして…」彼は父親だったので、彼を諸国の父親にしたのです…

75 今、アブラハムはその約束を信じ続けました。最初の月、2番目の月、1年目、3年目、5年目、25年目、そして彼はまだそれを信じていました。そして聖書は、彼は不信仰によって神の約束によるめくのではなく、力強く、神をほめたたえていると言っています。分かりますか？彼は確かな音を聞きました。どんなに時間がかかっても、それとは何の関係もありません。それが何であれ、それは正しい音なのです。ふう。ああ、もしあなたがそれを手に入れることができれば、教会、それはすべて終わったでしょう。私はあなたに言っています。もし私たちがそれ(分かりますか?)、その確実な音、それが神であるということを得ることができれば、物事は違ったものになるでしょう。どうやって知るのですか？彼はそう言った。「アブラハム、サラがこの赤ちゃんを産むことをどうやって知っていたのですか？」

「神がそう言われましたから。」

「まあ、ここを見てください、彼女は65歳です。」

「彼女が60才だろうが100才だろうがそんな事は気にしません。それが何であれ。神がそう言われました、それで解決します。」

「もしそうなら…ああ、私は…さて、私は来年来て、その赤ちゃんがどのようにうまくやっているかを見ています。9か月後、私はあなたの赤ちゃんに会いに戻ります。」

「9か月後にはここに来ないかもしれません。私はそうなると信じています。しかし、もしそれが9か月以内にここにはない場合は、次の9か月になる可能性があります(分かりますか?)。ここにあるのです。」

76 何年も経ちました。年が経ちました。「それはどうですか？」

「ただ、どんどん強くなって、言うのです、神に栄光を。神がそれを言われました。ああ、もし私がしなければならなかったら、私はそれを信じることはできませんでした…?…」

ふう!私はたまたまこの辺りを見て、キッド兄弟姉妹がここにいるのを見ました。つまり、彼は言いまし

た…少し前まで、私は…医者が音を立てました。その老人は死にかけていました。わかりますか？そして、私は彼に別れを告げるためにここに立ち上がるために私の車からタイヤを取って、燃やすのが好きでした。ある朝、私が部屋に上がったとき、聖霊は「いいえ、彼は死ぬことはない」と言いました。わかりますか？ここに彼はいます。彼は25ポンド増えたと聞きました。何と、何と、何と。ご覧のとおり、それは確実な音です。わかりますか？それは確実です。神がそう言われたなら、そうです。

77 ちょうど先日カリフォルニアから来たところです。スーツケースを入れていませんでした。2か月間、ちょうど2か月家に帰っていませんでした。私は2番目のスーツケースを得たところで、電話の呼び出し音を受け取りました。それは女性でした。まあ、何年も前に私がミルタウンバプテスト教会の牧師をしていたとき、彼女はある種、私のガールフレンドのようなものでした。

彼女には2人の素敵な娘がいました。そして彼女は立派な男、ハフ兄弟と結婚しました。そして彼は製粉業者でした。彼はそれを持っていました—彼の指と親指の1つが切断されました、とても素敵な兄弟。そして、彼らには双子が居て、もう一人女の子がいて、3人の子供を作りました。そして双子は頑固なクリスチャンでした、彼らは一彼らはUBEの人々でしたが—彼らは本当に神を信じています。そして、彼らは…一人の少女が学校に行き、複合施設を手に入れました。少女たちは彼女に言います、「まあ、私たちのように喫煙してみませんか？あなたは私たちよりもあなたが優れていると思いますか？踊りに行ってみませんか？」

さて、彼らは踊りに行きませんでしたし、喫煙も飲酒もしませんでした。そして彼らはからかった…より健康な少女、彼女は言いました、「ハフ、彼らを川に飛び込ませてください。キリストに仕えるのは私です。彼らは望んでいません、彼らを先に進めさせてください。」

しかし、もう一人、彼女は「ああ、多分私は何かできるかもしれない」と考え始めます。そして彼女は複合施設を建設し、精神不安定になりました。彼女は気が狂った。彼らは彼女を2年間施設に入れました。そして、彼らは彼女にあらゆる種類のものや治療法、そしてすべてを与えることによって、彼女を医療で何とかしようとしていました。彼らは…それはうまく行きませんでした。

78 それで、私が家に帰ると、彼らは言いました。「ブランナム兄弟…彼らは彼女をそのカトリック機関に連れて行き、月曜日に彼女をマディソンに送る予定です。それは精神病院の独房のようなところです。それでいいですね。」

彼女は18歳で、天才です。彼女はそれらの完璧主義者の一人です。彼女は18歳でオペラを教え、序曲を演奏し、音楽を教えています。わかりますか？本当に賢い女の子。そして彼女は…本当に良いクリスチャン…そして、彼らはそれを理解できませんでした。

そして、彼らが彼女をその精神病院の独房に入れるつもりだと言ったとき、それがすべてでした。彼らは彼女に与えます、私はショック治療の数を忘れていますが、そしてそれは暗闇の中で注射を打つのです、ほら、そしてそれは彼女を悪化させました。それで医者は「彼女に希望がないので月曜日にマディソンに連れて行くつもりです」と言いました。

そして、小さな母親は言いました、「私は私たちのことを覚えています…ブランナム兄弟は、かつてここにいて…そしてキリストが癒し主であることについて私たちに話していました。」「私は…そして、私は彼がどこにいたかについてのあらゆる種類の新聞報道と物事を聞いたことがあります。」彼らは田舎に戻った田舎の人々でした。そして、「もし私が手に入れることができたなら…」と言いました。それで彼らはジェファーソンビルの事務所に電話し、私がカリフォルニアにいると言いました。特定の日に家に帰る。「まあ、それは私たちにただ…を与えるだけです…」と言いましたそれは金曜日だったと思います。私が入ってきたとき、それは月曜日になるでしょう、彼らは彼女を連れ去るつもりです。

79 それで彼は行って、私が来ることができるかどうか医者に尋ねました…そして医者は言いました「いいえいいえ。彼女を興奮させないで。」言いました、「彼らは…そのために何もすることはできません」と精神科医と彼らはそこにいました。それで彼らは先に進み、ハフ兄弟は「見てください」と言いました。それはカトリックの病院でした。「私たちの兄弟は、あなたが最後の儀式か何か、司祭を与えるつもりだったかのようです。」と言いました。

彼は言いました「まあ、彼は…何もできません。」「その説教者と話させてください」と言いました。

「大丈夫」と言いました。そして彼は彼に私の番号を教えてくださいました。彼は電話して来ました。私は外出していません。「持っている…」と彼は私の妻に「彼に電話をかけ直して」と言いました。

私は土曜日は終日、そして土曜日の夜12時まで一晩中電話をかけました。彼は決して入ってきませんでした。私は彼が私に回避を与えているのを見ました(わかりますか?)、私が来ないようにさせようとしていました。

80 そしてハフ兄弟は電話をして、「ブラナム兄弟、彼らは月曜日に彼女を連れて行くつもりです」と言いました。

私は言いました。「ハフ兄弟、彼は私を知らないの、あなたは私を訪問者として連れて行ってください。訪問者として入らせてください。」

そして彼は「大丈夫」と言いました。それで翌日、彼は私を訪問者として迎えに来ました。そして…彼の…双子、双子の一人、そしてもう一人の少女は私と一緒に行くために車に乗り込みました。私たちは川を渡ったので、母と父が前に進みました。

そして、私はその女の子達に質問し始めました。「おかしなことに、ブラナム兄弟」と言いました。「今朝…」素敵な小さなこ、彼女は言いました、「ご存知のように、私たちの牧師は、あることについて説教し始めました、そして彼は彼の主題を変えて、油による癒しについて話し始めました。」そして、「パパとママは泣き始めました。なぜなら…そして私たちも泣き始めました。あなたが来るのを知っていたからです。あなたを連れて行くためです。」「人々が聖書の中で油によって行うある種の癒しがあります。」と言いました。

私は「私は…姉妹」と言いました、「私はあなたが何について話しているのか知っています」と言いました。

彼女は言いました、「あなたはそれが関係しているかもしれないと思います、神は私たちがそのようにチャンスがあったことを私たちの牧師を通して私たちに伝えようとしていたのですか?」

私は言いました、「私たちはそこに着くと、聖霊が言っていることが分かる事でしょう。」

81 そして、彼らがドアを開けると、ドアのロックを解除してから後ろにロックし、エレベーターのロックを解除してあなたを持ち上げ、再びロックして、人々を守ります…あなたを独房に入れることになります。

そこに設定してください…かわいい小さな子、18歳の小さな、小さな最愛の人、そのくらいの高さで大きくて柔らかくてかわいい目。そこに、とにかく一ただーああ、ただひどい状態で、ただーそのように設定します。そして私は、「マーガレット、あなたは私を覚えていますか?」と言いました。

「ああ、ああ、ああ…」と言いました

そして私は言いました「私はブラナム兄弟です覚えていませんかあなたが私を呼んでいた「ビリー」、あそこに…あなたと私は…あなたが来たとき、あなたは小さなカボチャの種、小さな小さな女の子のようでした、私がある方全員に最後に会ったとき、そのような小さな小さなドレス。私のことを覚えていませんか。」

「ええと…」と言った、大きな大きな目、そのように見えます。

そして、私は「ああ、神様…」と思いました。私は自分で設定しました…ある意味私の足をベッドの端を交えておきました。そこに妻を抱きしめようとしている男がいました。彼女はひどい状態でした。この女の子はここにいる、父親は女の子のそばに立っていました。母親はベッドの反対側の角に腰を下ろした。私たちはそこに設定していました…私は思い続けていました「主よ、あなたは何か言われるのでしょうか?何か言ってくださいませんか。」

私は「マーガレット、私を覚えていますか?」と言いました。そして、それは私を見続けました。彼女は何も理解できませんでした。

82 言った、「ブラナム兄弟、彼女は…彼女が話し続けているのは、血や高速道路などについてだけです」と、「最もおかしなこと…」と言いました。

そして私は、「このことはいつまで続くのですか?」と言いました。

「2年」と言いました。

そして私は彼女と話し続けました。ああ、しかし、神の恵み…ほんの数分で、聖霊が入り始めます。私は

「マーガレット、あなたは私を知らない」と言いました、しかし私は言いました、「あなたは一生、男の子について知るのに十分な大きさだったので、説教者と結婚することを常に心に留めていました。あなたは説教者と結婚したかったのです。」そして彼女は笑顔をし始めました。それが引っかかった。分かりますか？そして、私は聖霊がそれを持っているのを見ました。そして私は、「主がこう言われました、それは終わりました」と言いました。そして、「私は何と言いましたか？」と思いました。

83 あなた方の多くはリスなどについて読んだことがあります。私は「終わった」と言いました。「まあ」と私は思いました、「もし彼がそう言ったなら、私はそれを正しく続けています。」私は言いました「ハフ兄弟、なぜそんなことを言ったのか分かりません。私には言えません。」私は言いました、「私はちょうどそれを言いました、そしてそれは私が知っているすべてです、ちょうどそれを言いました。」そして私は言いました「でもあなたはただ見ているだけです今後数時間で、ここに変更が加えられる予定です。」それは午後5時頃でした。私は「数時間以内にここでそのような変化があるでしょう」と言いました。

私はちょうどその朝、タバナクルの教会でそれについて話しました。タバナクルの人々の何人かは今ここにいます。フレッド・ソスマンと彼ら、私はここにいたことを知っています。そこで一彼らは、それが言われているのを聞いたのです。ああ、私はここにいるこれらの男の子たちが落ちていたと思います。この何人がタバナクルで私が言ったことを覚えていますか…？ええ、彼らはここにあります。分かりますか？私は「祈りの中にいる」と言いました。「何かが起こるのを直しているのです。何かが起こるのを決めています。」

84 そして、私が戻ったとき、私は外に出ました…彼らはドアのロックを解除し、私を元に戻しました。そして、車に乗って角を曲がったとき、私は言いました。「天のお父様、なぜ私はそれを言ったのですか？なぜ私はそれを言ったのですか？」それらのリスなどに言われて現れたときと同じでした。私は「何かが起こるのが決められていました」と言いました。

次の集会でこの再び確認されました。この最後の集会では、何が行われるように決めされていたかが確認されました。

そして家に帰ったとき、私は着替えて教会に戻っていました。ハフ兄弟から電話がありました。彼は言った、「ブラナム兄弟、私はもうそれを保持することができませんでした。」言いました、「分かりますか？あなたが去った後、あなたが去ってから約30分後、医者がやって来ます。」「マーガレットはベッドに座っていた…」と言いました。そして、私がそこに着いたとき、私は言いました、「マーガレット、主がこう仰せになられる。終わりました。」そして、彼女の母親はちょうどそのように膝を横切って私を殴りました、そして彼女は彼女が何をしているのかさえ知らずに彼女の娘に叫びました、そして彼女は「ハニー、彼は決して間違っていない」と言いました。そのように、「彼は決して間違っていない。」そして、私は建物から出ました。

85 ハフ氏が私に電話して言った、「ブラナム兄弟、医者がここに入ってきて、『何が起こったの？』と言いました。「女の子は自分のところに来た」と言いました。」

言いました、「私達は、明日彼女を家に連れて帰ります。彼女は退院させてもらえました。彼女は普通で、誰もがそうかもしれません。」彼女は今夜家に帰り、喜んでいます。なぜなら、なぜですか？確実な音がありました。何が逆になっても、それは確実な音なのです。ああ、神様、その確実な音…

86 あと2、3分、あと5分くらい。ある確実な音…どの様に我々は進むことが出来るのか。先日、道路で何かが起こりました。同じこと、それはどんだんどんだんどんだん動き続けています。なぜですか？それは確実な音です。なぜなら、その日の森の向こうに、フレッド兄弟、トム兄弟、そしてここにいる残りの皆さん、レオ兄弟、あなた…その人—主の天使が森の中に立って、「その言葉を話し、それが起こるのを見てください」と言ったとき、それは不確かな音ではありませんでした。それは音でした。私はそれが真実であることを知っています。私はそれを心から信じています。この聖書を心に抱いて、それは神です。私たちは終わりの時です。

87 イエスが地上にいたとき、イエスは不確かな音ではありませんでした。彼は言いました、「私には私の人生を置く力があります。私には再びそれを取り上げる力があります。」それについて不確かなことは何もありません！それは確実な音でした。なぜですか？彼は神から聞いていました。そうです。ハレルヤ。今、私は叫びたくなくなっています。私は今、敬虔に感じています。今、私たちはネガティブな側面からポジティブな確実な音へと降りていきます。「もしラッパが不確かな音を出すなら、誰が自分で準備できるのですか？」しかし、ラッパの音。私たちは終わりの時にいるのです。それは聖句にあります。「夕暮れ時になると光があります…これらの印…」など。それ—それはここにあります。ラッパは正しい音を出します。準備しましょう。そうです。準備しましょう。兄弟、姉妹、何かが起こるように決められています。

イエスは言われました、「私には自分の命を捨てる力があります。私には再びそれを取り上げる力があります。」そうではありません、「多分私は…私が持っているといいのですが…」彼は「私は持っている」と言いました。アーメン。それだけです!

88 ラザロが4日間死んでいた時にマルタが彼に会いに来たとき、「主よ、あなたがここにいたら、私の兄弟は死ななかつたでしょうが、今でも、あなたが神に求めたものは何でも、神はあなたにそれを与えます。」と言いました。

イエスは、「私は蘇りであり命である」と言われました。「そうであれば良いのに」ではありません。私はそれである。」なのです。アーメン。「わたしを信じる者は、死んでも生きるであろう。そして、わたしを信じて生きる者は、決して死ぬことはない。これを信じますか?」それについての不確実性はありません。「私はそうです。」「私はそうなります。私はなりたいです。」「私は今そうなのです。私はいつもそうだったし、これからもそうなるでしょう。私は蘇りであり命である。私は; 私はそうです。」はい。それについて不確かなことは何もありません。

89 「どこに彼を寝かせておいたのですか?」ハ、ハ、ハ、ハ…アーメン。何もない…私はしません…さて、覚えていません。「私はそれについて何が出来るかを見に行きます。」「私は行って彼を起こします。」それについて不確かなことは何もありません。それは確かでした。なぜですか?神は彼にそう言われました。そうです。「父が最初に私を示すまで、私は何もしません。」ヨハネによる福音書5:19、「よくよくあなたがたに言うておく。子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。父のなさることであればすべて、子もそのとおりにするのである。」アーメン。それについて不確かなことは何もありません。

「彼は死んでいます。彼は墓で腐っていますが、私が彼を起こします。(アーメン)私は彼を起こしに行きます。」不確実性はありません…「わたしを信じる者は、死んでも生きる」ということを忘れないでください。それについて不確かなことは何もありません。それは神が真実であるのと同じくらい真実です。ああ、彼があなたを知っていることを嬉しく思いませんか?彼の本にあなたの名前が載っていてうれしいではありませんか?「わたしを信じる者は、死んでも生きるであろう。」アーメン。ふう。

90 「私は蘇りであり命である」そして私は彼の中にいます。神は彼をよみがえらせることによって証明されました、彼は私もよみがえらせます。私はすでに天国にいます、蘇りました。神に関する限り、それは真実です。「彼が予見した者たち、彼は呼ばれた。彼が召命した人々、彼は義化した。彼が義化した人々に、彼は栄光を与えられました。」アーメン。今、栄光の段階で、キリスト・イエスの天の場所に、栄光を受けた段階で、私たちの中の蘇りの力を持って立つことは、私たちを罪人からクリスチャンに変えました。ふう。それについて不確かなことは何もありません。

「どうやってわかるの?」それは私の中に住んでいます。どうやってわかりますか?それはあなたの中にあります。アーメン。それがこれらのことが起こっている理由です。それについて不確かなことは何もありません。私たちは生きていますので、死から生へと移らされています。「死んだ者はわたしを信じているが、それでも生きる。そして、わたしを信じて生きる者は決して死ぬことはない。」彼を信じて彼に来るすべての人は、「私は彼に永遠の命を与えます」と言います。今、私たちは永遠の命を持っており、終わりの時に引き上げられるでしょう。ふう。何という事、それだけです。それについて不確かなことは何もありません。いいえ、すでに完了しています。

91 「私の父が彼を呼ばない限り、だれも私に来ることはできません。そして、父がわたしに与えたすべてのものがわたしのところに来るであろう。」クリスチャンは何人いますか、手を挙げてください。さて、あなたはすでに栄光の段階にあります。アーメン。「父が私に与えるすべてのものが来るでしょう。そして、来るすべては賢明に追い出されることはありません…彼らに永遠の命を与え、終わりの時に彼を引き上げるのです。私は…」

「たぶん私はそうするでしょう。」

いいえ。「私がやります。」それは確実な音です。それは確かです。私たちは栄光の段階に出てきます。「この死すべき体は死なないからだにもたらずでしょう…?…蘇り。」不確かなことは何もありません。私たちは何を怖れているのでしょうか?ああ、ハレルヤ!わくわくすることも、恐れることもありません。つまり、ああ、何と、なぜ?不確かなことは何もありません。我々は確実なのです。「私が彼を連れてきます…この死すべき体は死なない体になります。私たちがどのような体を持つかはまだ明らかにされていませんが、私たちは彼自身の輝かしい体のような体を持つことを知っています。私たちは彼を彼のように見るからです。」アーメン。

それについて不確かなことは何もありません。「私たちは彼に会います。」栄光。不確かなことは何もありません。それはすべて確実です。ああ、あなたが望むなら、あなたは先に進んでその不確かな音を取ることができ、しかし私は確かな音を出す福音のラツパが好きです。福音のラツパとは何ですか？良き知らせです。そうです。彼は今ここにいます。さて、それについて不確かなことは何もありません。大丈夫です。

92 彼は言いませんでした。「私は降りて、ラザロについて何ができるか見ていきます。私は降りて、私に何ができるかを見つけます。私は降りて、彼を引き上げることができるかどうか試してみます。」「彼は蘇るであろう。」それは確かです。

さて、あなたは今言います、「あなたはイエスについて話しているのです。あなたはアブラハムについて話していました。あなたはどうですか？」うん。私達も確信を得ました。「まだしばらくすると、世は私をもう見なくなりますが、あなたは私を見るでしょう。私はあなたと一緒にいるからです。」それは確実です、確実です。「私はします」。

「多分私は…、多分私は…？」いいえ、「します」。それは確かです。「私はあなたの中にさえ、あなたと一緒にいます。」必要に応じて狂信と呼ぶこともできますが、私が救われたことは確かな音です。アーメン。「私はあなたと一緒にいて、世界の終わりまであなたの中にいます。」それはあなたが知っていることは確かです。

自分が確信していることをどうやって知るのですか？大丈夫、「私がする仕事はあなたもするでしょう。」それはしるしです。私があなたと一緒にいることを証明するために、私はあなたに証明するためのしるしを与えます。不確かではありません…あなたは、「まあ、私の、私がただ仕事をしているのかどうかにかかわらず、私が感情的であるかどうかをどうやって知るのですか？」と言います。

「これらのしるしは信じる者に従うものとする。」不確実性はありません。

93 「私たちがクリスチャンであるかどうかをどうやって知るのですか？今、私たちは全世界に出て行って、福音を宣べ伝え、バプテスマを授けたりなどしています、私たちがクリスチャンであることをどうやって知るのでしょうか？」

「これらのしるしはそれに続くものとする…私はあなたに確実性、確かな音、確実なしるしを与えます。」

94 さて、これがそれになるでしょう：説教者は言います、「来て、私たちの教会に参加して、私たちの信条を唱えるか、バプテスマを受けるか、振りかけるか、注がれるか、あるいは、ああ、それ以上(分かりますか?)、そしてそれだけなのです。」イエスはそれについて何も言われませんでした。それは不確かな音です。

あなたは「まあ、私の母はこの教会に属していました」と言います。それはとても良いことです。「まあ、私はあなたに言います、私は歩いて行って確認されました。」それは、それも大丈夫ですが、そうではないのですが、それでもまだはっきりしていません。分かりますか？

イエスは言われました、「私はあなたに確実なしるしを与えるつもりです。これらの印…」マルコによる福音書16章、彼が彼の教会に言った最後の言葉、「あなたがたは全世界に出て行って、すべての創られたものに福音を宣べ伝えなさい」。どこまで？全世界。いくつですか？すべての創られたもの。それは、何百万、何十億、何十億もの手付かずの状態に到達したようなものではありません。分かりますか？さて、彼一彼は言いました…

「さて、それは弟子たちで終わった」と彼らは言います。いいえ、いいえ。ここに確実な音があります：「全世界とすべての創られたもの」。それは確かです。福音が説教されたとき、「これらのしるしは(多分そうではないかもしれませんが、彼らは…すべき…彼らはそうするでしょう!)」。それは確かです。ああ、兄弟、私は心の中でペンテコステであることを嬉しく思います。はい。

95 「ああ、これらのしるしは…」それは確かです。「これらのしるしは確かに信じる者たちに従うでしょう。わたしの名において、彼らは悪魔を追い出し、新しい言葉で話します。もし彼らが蛇を取り上げたり、致命的なものを飲んだりしても害はないでしょう。彼らは病人に手を置けば、彼らは癒されるであろう。」確実な印。

「ノアの時代のように…」

「私たちが終わりの時にいることをどうやって知るのですか？主よ、それは終わりの時に何になるのでしょうか？さて、私たちが終りの時にいることをどうやって知るのですか？」

「ロトの時代と同じように、そうなるでしょう。だから…」、多分そうではない、あるいはその時にあるべきではない、いいえ、それは同じ霊であり、人間の肉に宿り、心の考えを識別し、誰が彼の後ろにいるのかを告げました。あなたは私が何を意味するか知っています。私たちは終わりの時に生きているのです。「それはロトの時代のようになるでしょう。」誰かが立ち上がる必要があります。何かがそれをしなければなりません。

96 しかし、それはまた、終わりの時に、教会がどのように生ぬるい状態になるのか、崩壊するのかについても述べました。そうなるでしょう。それを止めようとする必要はありません、そうなるでしょう。しかし、そこにはいくつかあり、彼は立っていました…7つの教会時代の中で唯一の教会時代であるラオデキアの時は、イエスが教会の外で見つけられ、ドアをノックして、戻ろうとした場所です。そうです、唯一の教会時代…はい。そして、いわゆるラオデキアのペンテコステ教会時代、あなたがイエスを外側に置き、彼がドアをノックして立っていたまで、彼らは非常に多くの信条と宗派を作りました。[ブラナム兄弟が繰り返しノックする—編集]「私が愛するすべてのもの、私は叱責し、懲らしめます。」

97 さて、髪の毛を伸ばしたままにして、タバコの喫煙をやめ、そしてショートパンツの着用やこれらすべてのことをやめ、クリスチャンのように生きるべきだと言っても、私に怒らないでください。「私が愛するすべての人は、懲らしめ、叱責します。熱心になって悔い改めなさい。」彼が言ったこと…「そして、ドアを開けて私を入れてくれる彼は、私が入って彼と一緒に食事をし、彼は私と一緒に食事をします。ドアを開けていただければと思います。」そうではありません。「多分私はそうするでしょう、私はそれを考え直すでしょう、私はそうするでしょう。ドアを開けるすべての人のところに行きます。」ああ、彼らは確実な音。大好きですよ？はい。

あなたは言います、「さて、ブラナム兄弟、私がしたことをあなたに話します。私—私行って教会に加わりました。私は今、救われたと信じています。」それはそうではありません。ええと。

ペテロはペンテコステの日に言った、「あなた方一人一人を悔い改め、あなたの罪の赦しのためにイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、あなた方は聖霊を受けるでしょう。」いいえ—いいえ—あなた—たぶんあなたはそれを受け取るでしょう。いいえ、いいえ、多分それについてはありません。「あなたはそれを受け取るでしょう。約束はあなた、あなたの子供たち(そしてミドルタウンの子供たち)、または私たちの神、主が呼ばれるのと同じくらい多くの人たちに約束されているからです。(確かです。)そして、彼を受け入れた多くの人々に、神の子となる力(神に栄光)を与えました。」息子たちには、信じられている限り多くの人が教会に加えられました。どうやって教会に入ったのですか?「一つの霊によって、私たちは皆、一つの体にバプテスマを受けています。」それについて不確かなことは何もありません。それは確かです、確かな音なのです。

98 レオ、ここで2、3本のテープを使いましたか?やめます。私はあなたをここに半夜置いておきます。ああ、何と。

ヘブル人への手紙13:8、「イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがない。」そうですか?彼は道の一部になりますか?彼—彼はその一部になりますか?彼は同じになります。それについての不確実性はありますか?まったく違います。大丈夫です。

「わたしを信じる者には永遠のいのちがある。それについて不確かなことは何もありません。「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者には、永遠の命がある。」それについて不確かなことは何もありません。そうですか?それは神の約束です。神への悔い改め、そして聖霊、神の癒し、そしてそれらすべてのもので満たされることは確かです。それは神の約束です。「これらのしるしは信じる者に従うであろう。」

99 さて、あなたは「ブラナム兄弟、私はアッセンブリーに所属しています」と言います。それは良いことです。私は他の教会と同じようにすぐにアッセンブリーに所属したいと思います。それは素晴らしい教会です。私の最大のスポンサーの1つはアッセンブリーオブゴッドです。

「私はチャーチオブゴッドに属しています。」まあ、いいですね、私もそうです。チャーチオブゴッドと私はそのアッセンブリーにも属しています。分かりますか?そして…私の偉大なスポンサーの一つであるチャーチオブゴッド。

「私はフォースクエアに属しています」とあなたは言います。まあ、私もそうです。分かりますか?彼らは一彼らは素晴らしい教会です。私—私—私—素晴らしい人々のグループ。それらすべての中に教会は1つしかありません。それらはすべて教会として一緒になっていますが、それは彼らのグループは問題ありません。分かりますか?

「私は米国に属しています。」確かに、私もそうです。分かりますか？彼らは素晴らしく素敵な兄弟達です。分かりますか？大丈夫です。私も彼らに属しています。私は彼らと同じ教会にいますので、私は彼らに属しています。聖霊に満たされているすべての人…なぜなら、一つの霊によって、私たちは皆、一つの体にバプテスマを受けたからです。そうですか？さて、それは不確かな音ではありません。それが第一コリント人への手紙第12章です。「一つの霊によって、私たちは皆、一つの体にバプテスマを受け、その体のメンバーになります。」アーメン。

100 さて、これがそれです。その日、イエスは羊を山羊から引き離すと言われました。彼は彼らが羊と山羊になると約束しました。そして、そして彼は、賢明な処女と眠っている処女がいると約束しました。彼らはそこにいるでしょう。彼の言うことはすべて確かです。そして、私は、今夜、それを知ってとてもうれしく思います。疑いの影を超えて、私は聖霊によって新たに生まれました。あなた—あなた—あなたはそれが好きですか？あなたはそれを信じますか？さて、それは私がちょうど…のように立っているところです、そして最後にこの発言をします。

私の友人であるポール・レイダーは、数分前に彼が亡くなったときのことを引用しました。ポール・レイダーはかつて、彼が使ったと言いました…彼はオレゴン出身です。それが彼の家が合った場所です。そして彼はかつて材木を切っていました。そして彼は一度彼に言いました—彼のボス…そして彼は夢の中にいました。そして彼の上司は彼を送って、特定の木を特定のサイズに切りました。そして—そして彼は木を切りました。そして彼は斧を丸太に置いてだけです。(そしてその男の最大の筋肉は背中にありました。彼が持ち上げに行くとき、彼は彼の足、腕、背中で持ち上げます。彼は体のどの部分よりも背中が強いです。)それで彼は丸太を手に取り、膝を合わせました、そして彼はただそれ以上行くことができなくなるまで、ただ格闘し、格闘し、格闘し、そして格闘しました。彼はただ自分自身を疲れさせだそうとしていた。「私はとても衰弱していて、動けなくなるまで、とても弱っていました。」と言いました。

そして何が起こっていたのか、彼は海外で宣教師として働いていました。彼はそこにずっと戻っていて、彼らが黒水熱と呼ぶものがたくさんいました。それがパウロが持っていたものだったと思います。周りには医者もいません。皆さんがご存知のように、ポールは神の癒しを大いに信じていました。そして彼は、偉大な人でした。

101 ビリー・サンデーはシカゴに一度来て、シカゴの福音タバナクルで数回の集会で説教しました。そこでポールはそこで説教をしていました。そしてビリーは約1週間か10日説教しました、そして彼は説教を使い果たしました、彼はそれ以上の説教を持っていませんでした。そしてポールはそこで約6ヶ月か8ヶ月説教をしていました。そして彼はポールに言った、「ポール、いつ説教がなくなるのですか？」「ホースにねじれが生じたとき」と言いました。それは—彼は…それ—それはパウロでした…だから…彼がホースにねじれを感じたとき、あなたは知っています、彼がしたことで、立ち止まりました。何かが供給ラインを遮断しました。分かりますか？彼はちょうど演壇に行ったと言いました…そして、皆さん、誰もがポール・レイダーを知っていたなら、彼は創世記から始めて黙示録、そして聖書全体、そして他のあらゆる場所で説教していました。彼はちょうどそこに立ち上がって、説教に当たるまで殴り始め、それを始めました。

102 そして、彼—彼—彼はこの黒水熱にかかり、そして彼は…そして彼らは彼が死にかけていると思った。そして彼は妻に言った、「私の近くに立って、祈ってください」。どんどん暗くなっていき、部屋はようやく消えていきました。彼がこの夢を夢見たのはその時です。そして彼は言った—彼はそれがその熱であると推測し、彼がちょうど去るまで彼をそのように泡立てさせた。そして、あなたは黒水熱が何であるかを知っています。あなたはそれと一緒に生きてはいません。ですから彼は神を信じ、いつも神に信頼していました。

それで彼は—妻に祈ってもらい、彼女の手を彼の上に置き、そして祈ってもらいました…そして、彼らは彼らがいた場所から出るために何日も何日もカヌーで出かけなければなりませんでした。そして言った、人が…彼は自分が疲れ果てるまで、この丸太を試してみるのを夢見ていました。「彼はただ…彼の力は完全になくなった」と言った。「彼はとても疲れ果てて、ただ腰を下ろして木にもたれかかった。そして彼は言った、「私は終わった。私はその丸太を持ち上げることができません、それは…私の力はどこに行ったのでしょうか。なぜ、私は以前はその丸太を持ち上げて片手で背中に置くことができました」と言いました。「ここから離れて行ってしまいました。小さな木です。」そして彼はとても強い人でした。そして彼は言いました、「私には出来た…なぜ、私はそれよりも大きな木を拾いました、いつでもそれと一緒に歩いていたのに。」そして、「彼はただそこに立ち、ただ泣き始めました」と言いました。彼は言いました、「私の力はすべてなくなりました。私は他に何もできません。私の力はなくなっています。」

そして、彼は彼のボスを聞いたと言いました—ボスがやって来て、「ポール、どうしたんだい？」と言いま

した。

そして、「彼は、ボスが今まで聞いた中で最も優しい声を持っていると思った」と言いました。そして彼は言いました、「私は一私は終わりました。私もう力がありません。これ以上は行けません。その丸太を持ち上げることもできません。それを持って動き出すことさえ出来ないのです。」

彼は「ポール」と言いました、「とにかくそれで何をいじっているのですか?」と彼は言いました。分かりますか?彼は言いました、「あなたのすぐそばに流れている小川があります。」そして、「その小川に投げて、乗って降りてみませんか?キャンプは丘のすぐ下にあります。その浅瀬の小川を降りるとキャンプに行きます。」言いました「小川でそれを転がして、それに飛び乗ってください。乗る; それにあなたを連れて行かせればいいでしょう。」

「まあ」と彼は言いました、「私はそれについて考えたことはありませんでした。」そして、「彼が振り向いたとき、彼は彼のボスが誰であるかを見ました、それは彼の本当のボスです。」と言いました。彼はそれを水に押し込み、丸太にまたがってジャンプし、とても幸せだったと言いました、彼はそのように水を飛び散らせ始め、「私はそれに乗っています」と叫びました。私はそれに乗っています。私はそれに乗っています」と、浅瀬を越えて、同じようにきれいに、「私はそれに乗っている」と叫びながらキャンプに降りてきました。そして、彼が自分自身に来たとき、彼は床の真ん中にジャンプし、彼の妻は隅に横になり、そこで彼女を投げ返し、彼の声の一番上に向かって叫びました。私はそれに乗っていると言いました。私はそれに乗っているのです。私はそれに乗っているのです。」

103 そして兄弟、それが今夜のことです。ある日、イエス・キリストが私を愛してくれていることに気づきました。私は彼の子供として生まれたことに気づきました。彼は私を呼んで、私に永遠の命を与えてくれました。いつ死ぬかわかりません。私は関係ありません—私には関係ありません。しかし、確かなことが1つあります。それは、彼がこの本で約束したすべての言葉、私はそれに乗っているという事です。私はそれに乗っています。「イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わらないのです。」聖霊のバプテスマは、誰でも来てそれを受け取る人のためのものです。神の癒しはすべての人のためのものです。誰でも来て祝福を受けることができます。

血だらけの泉があり、
インマヌエルの静脈から引き出された、
罪人が洪水の下に落ちたところ、
彼らの罪の汚れのすべて失うのです。
その死にかけている泥棒は見て喜んだ
彼の時代におけるその泉。
彼と同様に下劣であってもそこに居られますように。
私の罪をすべて洗い流してください。
それ以来、信仰によって私はその流れを見ました、
あなたの流れる傷が供給され、
贖う愛が私のテーマでした、
そして、私が死ぬまでそうなるでしょう。
それから、より高貴で優しい歌で、
私はあなたの救う力について歌うでしょう、
この貧しい表現、どもる舌
墓に沈黙している。

104 兄弟たち、私はそれに乗っています。私はそれに乗っています。私はペンテコステ派の人々に来ました。彼らはバプテスト派と同じように異なる組織を持っていました。私はそれらのいずれにも参加したことはありません。私はグループの真ん中に立って、彼らが兄弟であり、両方であることがわかりました。周りのすべてのグループ。私はそのように彼ら全員に腕をまわしました、そして彼らは私の兄弟です。「私はそれに乗っています。」

105 先日、テキサス州ボーモントで、あるグループの人々、72の教会が私の集会を後援している宗派の教会があり、彼らは素晴らしい集会を続けていました。そして、私は説教壇の上に兄弟を置いていました、ああ、ああ、プラットホームの上に、そしてその日、地区の長老が私に電話をしました。彼は言いました、「ブラナム兄弟、あなたが間違っバプテスマを受けた人を演壇に居させた事に憤慨しています。」「どうやってそれができるの?」と言いました。

私は「なぜ?」と言いました。

彼は言いました。「まあ、彼は—彼は—私たちの一人ではありませんでした。彼—彼—彼はそうではありえない。」

私は「まあ、彼は私の兄弟です」と言いました。

彼は言った、「あなたは私たちが何をしたか知っていますか?」「私たちは小さな線を引き、私たちの中からあなたを切り取った」と言いました。

私は言いました、「さて、私はあなたの上に小さな線を引き、あなたを再びその中に切って入れ込みます。」私は「私が…を連れて来た?…」と言いましたなぜ、あなたは私の兄弟です。私はそれに乗っています。彼らが何を信じているかは気にしません。イエス・キリストは分裂していないと私は信じています。「私たちの体はすべて、希望と教義の内に1つ、愛の内に1つ。」「イエス・キリストは、昨日も今日も、そしていつまでも変わることがないのです。私はそれに乗っています。」

106 今夜、それに乗ってみませんか?あなたは病気ですか?あなたは必要を抱えていますか?ここに罪人がいますか?手を挙げて、「私のために祈ってください、ブラナム兄弟、私は神の約束に乗りたいです。「私の言葉を聞き、私を送った神を信じる者は永遠の命を持つ。」と言います。私はそれに乗りたいです。私はいま直ぐその立ち位置を取りたいのです。」手を挙げて、「私のために祈ってください」と言ってください。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。神の祝福がありますように。それは大丈夫です。神の祝福がありますように。

聖霊のバプテスマを受けていない人は誰でもこう言います。「ブラナム兄弟、約束は私のものだと知っています。彼は使徒行伝第2章38節で私に言った、もし私が悔い改め、罪の赦しのためにイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けたなら、私は聖霊のバプテスマを受けるべきだと。彼はマルコによる福音書16章でこう言いました。「あなたがたは全世界に出て行って、福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマを受けた者は救われるでしょう。信じない者はのろわれます。これらのしるしは信じる者に従うものとする。私は…聖霊は私に約束されています、そして私はそれが欲しいのです。そして、神が私にそれを与えるまで、私は約束に乗るつもりです。」手を挙げて、「私は…」と言います。大丈夫、いいです。神の祝福がありますように。

107 ここにいるあなた方の何人がいうのでしょうか、「私は病気です、ブラナム兄弟」と。多分あなたは治療法を過ぎています。わかりません。医者から…彼(医者)はあなたを治すことはできません。神があなたを癒されるまで、彼はあなたの援助となり、あなたを助けることができます。しかし、私は…治療法は1つだけです。それは神です。彼の治療法…医者には治療法があります。神は癒されました。それだけです。彼には多くの治療法がありますが、癒しは1つしかなく、それは神によるものです。「私は主であって、すべての病いを癒すものである。」

「私は病気です、ブラナム兄弟。私は自分が知っているすべての方法を試しました。私—それを乗り越えることができないようです。しかし今夜、彼は私のすべての病気を癒す主なのです。彼は私の咎のために傷つけられました。彼の打たれた傷によって私は癒されるのです。私はそれを信じています。私はそれに乗ります。手を挙げています。ブラナム兄弟、私が彼の約束に乗ることを覚えておいてください。」ハレルヤ。これです。

108 さあ、聞いてください、友の皆さん。ただ…あなたは私に正直になって下さい。どうしてそれを失敗するのでしょうか?私はあらゆる意味であなたに尋ねます、それがどのように失敗することが出来るのですか?あなたは罪人であり、神にあなたを救うように頼んだら…彼はあなたが救われることができると約束し、キリストを死ぬように送りさえました。どうしてあなたは救われませんか?どこで失敗する可能性があるか教えてください。唯一の方法は、あなたがここにいて、ここにいないからです。あなたが言うなら、「聖霊は私のものです。私は悔い改め、罪を告白し、キリストを信じ、バプテスマを受けました。聖霊のバプテスマを受ける準備ができています。」あなたがそれを受け取らなかった唯一の理由は、ここに何か間違ったものがあるからです。そうです。あなたは正しく考えていません。ここから来ていた場合は、今すぐ入手できます。

あなたは言います、「ブラナム兄弟、私は神の癒しを信じています。私は彼を私の癒し手として受け入れます。彼は私の咎のために傷つけられ、彼の打たれた傷によって私は癒された。」ああ、兄弟。それで解決します。それだけです。唯一のことは…ここにあるのならそれは本当です。ここにあるとしたら、それは真実ではありません。そうでない場合、神は嘘つきであることになってしまいます。彼は守れない約束をしたことに

なってしまうのです。彼は他の人には守ります。あなたはどうですか？そうじゃないですか？考えてみてください。

109 あなたは「聖霊が欲しい」と言います。彼は誰にでもそれを与えます。そうですか？「私は救われたいのです。」

「主の御名を呼び求める者はだれでも救われる。」それがその物なのです。それはあなた次第なのです、ここ頭に置いている。悪魔にこれを使わせるのはあなたです。誰も人は…神が決断を下すとき、それがあなたが求めている何かのためであるならば、それは毎回同じ決断でなければなりません。もし彼が信仰に基づいて最初の人を救ったなら、彼は二番目の人を救わなければなりません、来てください。彼は来るすべての人を救わなければなりません。[テープ上の空白のスポット—編集]私はそれに乗っています。私はそれを信じています。心から信じますか？そうならば立ち上がって下さい。

110 私はここにいるすべての罪人に挑戦し、イエス・キリストの御名によって、あなたが自分の罪を悔いている事詫びていることを神に告げるように命じます。そしてあなたは今、イエスを救い主として受け入れるのです。そして、何が起こるかを見てください。

私はここで救われたすべての信者に、今キリストを受け入れ、あなたを聖霊で満たされるように挑戦します。それをすべて取り、あなたの罪を告白してください。ごめんなさいと彼に言ってください…あなたの罪は何ですか？あなたは「ブラナム兄弟、私はすでにクリスチャンです」と言います。あなたに罪を告白しなさい。あなたの罪の不信仰、唯一の罪は不信仰なのです。あなたはただ…あなたの不信仰があなたをそれから遠ざけています。ここにいるすべての病人は、「彼の打たれた傷によって我々は癒されたという事」への信仰を告白するだけです。何が起こるかを見てください。

111 さて、ここには何人の信者がいますか？手を挙げてください。さて、あなたが…さて、あなたは彼らの手を上げる人々が罪人であり、彼らが誰であったかを知っています…私はあなた方一人一人がその地域の他の誰かにあなたの手を置いて欲しいのです。どこにいても、お互いに手を置くだけで…演壇の上でも。

[テープ上の空白のスポット—編集]まだ行っていない場合は、癒しが必要です。主…手放すだけです。祈ってください。

私たちの天のお父様、神の御子イエス・キリストの御名によって、私たちは呪いを解きます。私たちはすべての悪魔の力を壊します。私たちはキリストの義を主張するので、信仰によってそれを壊します。主イエス・キリストの血が宣べ伝えられ、神の力が知らされたので、悪魔が今夜この素晴らしい場所から解放され、イエス・キリストの名によってここから出て行きますように。悪魔よ、彼らを解き放ちなさい。イエス・キリストの御名によって出て行け。アーメン。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7